

・ 勝率向上書 ・

～翼流トレード方法を使い更に勝率を上げていく～

-目次-

はじめに

(1) 資金を徹底的に管理していく方法

(2) 安定的かつ勝率を上げるテクニカル判断方法

2-1… 相場の流れに徹底的に乗ってトレードしていく

2-2… エントリーに使用するラインで安定を手に入れる

2-3… 適切な時間足の選択

2-4… ロウソク足の形成で勝率を見極める

2-5… MA抜けの際のロウソク足について

2-6… エントリーのタイミングの取り方

最後に

はじめに

こんにちは、「FX人生の頂点へ」のブログを書いている翼です。

この度は、「勝率向上書」を手にとって読んでいただきありがとうございます。

この勝率向上書では、トレードマニュアルの内容を元にさらに安定したトレードを行い尚且つ、勝率をグンと上げていくテクニカルの判断方法をお話していきます。

ですが、その前に・・・

なぜ『勝率向上書というのを作ることにしたのか?』という点について話していきます。

その理由は、ただ単に多く生徒さん達に翼流トレード方法を使いさらに、今まで以上の本当に多くの利益を上げていただきたいからです。

というのも、ブログやメール講座やライン@などの配信を行い「トレードマニュアル」や「究極の7定式」を作り、皆さんに翼流トレード方法をたくさん知っていただいた中で

私が一番嬉しいと感じたことは、翼流トレード方法で「9連勝しました!」「一回のトレードで50PIPS以上取りました!」「初めて月間プラスになりました!」「1週間で100PIPS以上獲得しました」などなどという生徒さん達の本当に嬉しいお言葉なんです。

というのも、自分が構築したトレード方法で生徒さん達から『多くの利益を上げました!翼さん、本当にありがとうございます。』というお言葉をたくさんいただき、そりゃ嬉しくないわけがないですよ(笑)

なので、私の生徒さん達には、もっともっと多くの利益を上げていただきたいと思い今回、「勝率向上書」というものを作りました。

それは、勝率向上書というものも作れば、皆さんもより勉強しやすくなりますしより翼流トレード方法を使い熟すことができると思います「トレードマニュアル」と「究極の7定式」の威力を十分に発揮していく手引きになると思います作った次第になります。

それでは、次に・・・

何故「この勝率向上書を無料で配ることにしたのか?」という点に関しては、この勝率向上書の内容は、ブログやメール講座やライン@で多く触れている部分がメインになるためです。

なので、いつもそちらを隅々まで読んでいる方は知っている内容も多いかと思えます。

ですが、1冊の本にまとめることで
皆さんもより勉強しやすいと思えますし
いつも以上に細かく丁寧に解説していますので、
ブログやメール講座やライン@で触れている部分の復習としても
是非、使っていただきたく「勝率向上書」を完全無料で配ることにしました。

その為、この勝率向上書はトレードマニュアルの内容が前提となり
その「トレードマニュアル」に記載している基礎のエントリー方法に加え
「究極の7定式」に記載している応用のエントリー方法に
この「勝率向上書」の内容をプラスしていくことで、
さらに、グンッと勝率を上げていくことができるものになります。

とは言いつつも、誤解していただきたくない部分は、
「トレードマニュアル」のみでも十分にプラスに持っていくことができる内容になりますし
「究極の7定式」に記載している応用のエントリー方法は、
どれも本当に爆発的な威力を発揮するエントリー方法になりますので、
それぞれ勝率が高いものになります。

ですが、私と同じく**“勝率80%以上”**を皆さんにも維持していただくために
この勝率向上書を通し、翼がいつも行っている『テクニカル判断方法』を
しっかり学んでいただきたく「勝率向上書」を作成しました。

なので、「トレードマニュアル」の内容がしっかり理解できていないと
この「勝率向上書」の内容もチンプンカンプンかと思えますので、
まだ、そちらを読んでいない方は「トレードマニュアル」の内容を
隅々まで読んでいただくことをおすすめします。

それから、もちろんメール講座やライン@にご登録し
私の配信を常に見ている方は、この勝率向上書の内容が理解できるかと思えますので
しっかり実践で活かしてってください。

というのも、いくら優れたトレード方法を知っていても
実践で活かすことができなければ、何の意味もありません。

なので、この勝率向上書の威力を発揮することが
「できるか?」「どうか?」は、
皆さん自身の問題になりますし、皆さん自身に掛かっているのです。

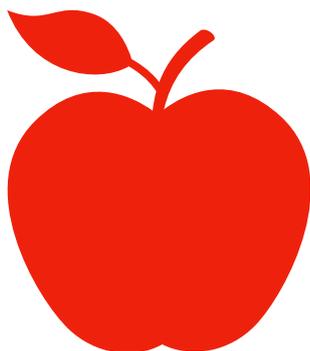
その為、いつも以上に安定したトレードを行っていくことができるよう
いつも以上に勝率を上げてエントリーしていくことができるように
この勝率向上書を暗記するくらいの気持ちで隅々までしっかり読んでください。

何故なら、この「勝率向上書」は
私が今まで多くの利益を生み出し続けてくることができた
テクニカル判断方法を惜しみなく記載しているものになりますので
かなり重要なことをたくさん記載しています。

正直、本当に「無料で配って良かったかな？」と悩んだくらいの内容になりますので
一字一句、逃すことのないように隅々まで読みきってください。

それでは、「はじめに」はこれで最後になります。

次からは、早速本題に移っていきます。



次は、第1章に移ります。

(1) 資金を徹底的に管理していく方法

資金管理に関しては、勝率を上げていく方法というよりは
トレードを行う際に徹底して行っていかなければいけないものになります。

というのも、トレードが安定していない上に
この資金管理までもがしっかり徹底できていないと
1回のトレードで資金が半分以下になってしまったり
1回のトレードで資金が底をついてしまうという事態に繋がり兼ねません。

だからこそ、大切な資金をしっかり守り管理しつつ
利益を上げ続けていくことができるように「資金管理」はとても重要になるのです。

ですが、その大切な資金管理をしっかり行うことができていない方が多いので
この勝率向上書に資金管理の項目をねじ込みました（笑）
なので、この勝率向上書を通して自分の資金を徹底的に管理して行ってください。

では、そのことを踏まえていただいた上で、翼流の資金管理方法について話していきます。

まず、翼流の資金管理方法は、
”資金の5%以内”に損切りが収まるように
ロット数を設定するのが適切になります。

その為、皆さんそれぞれで資金が異なるかと思いますので
自分の資金に対し、”5%以内に損切りが収まるように”
毎回ロット数を計算しトレードを行ってください。
(翼流損切り方法の詳細は、「トレードマニュアル」通りになります。)

それから、初期金額に関しましては「いくらが良い」などの決まりは一切ありませんので
ご自身でご用意できる好きな金額で全然OKになります。

ちなみに、私が愛用しているXMの場合で言いますと、
5万円前後あればトレードが可能になります。

なので、自身の資金の5%以内にロット数が収まるように
毎回計算をしてトレードしていけばOKになるのですが・・・

そのロット数の計算方法がいまいち分からないという方も
いるかと思いますので、今からその計算方法を説明していきます。

・適切なロット数の計算方法

(1) まずはじめに、

『**資金×損失%＝損失許容額**』を計算します。

つまり、「ご自身の資金」×「5%」が「損失許容額」になりますので
まずは、その損失許容額を計算してください。

ここまでは、すごく簡単な計算になりますので
何も問題ないかと思います(^ω^)

ですが、次はその日その時のエントリーを行うポイントの
損切り幅を確認し、そこからロット数を計算する必要があるため
ここからがほんの少しだけややこしくなります。

(翼流損切り方法の詳細は、「トレードマニュアル」通りになります。)

(2) 次は、(1)で計算した損失許容額を元に

『**損失許容額÷損切り幅＝ポジション量**』を計算します。

つまり、(1)で計算した損失許容額を元に

「**損失許容額**」÷「その時の**損切り幅**」が「**適切なロット数**」になります。

なので、適切なロット数の計算方法は以上の2回のみになります。

はじめのうちはこの計算方法を見ると、
なんだかややこしいと思ひ方もいるかもしれませんが
慣れてしまえば、なんてことはありません。

私も資金が少ない時は、この計算方法で
適切なロット数を毎回計算してトレードをしていたのですが、
頭の悪い私でも難なく計算することができていましたので
皆さんなら大丈夫かと思ひます！

ですが、一様念のための確認を行うことができるように
具体的な例を出しつつ、しっかり把握していきましょう。

次のページに移ります。

・例えば「資金100万円」でトレードを行う場合

『資金×損失%＝損失許容額』であるため、資金100万円でトレードする場合は、

『100万円×5%＝5万円』になり、

”5万円以内”に損失を抑えるのが適切になります。

(1,000,000×0.05=50,000)

その為、USD/JPY (110.00) でエントリーをする場合に

損切りポイントが (109.80) だった場合は、損切幅が「0.2円」になりますので、

即ち「0.2=20pips」となります。

なので、『損失許容額÷損切り幅＝ポジション量』になりますので

『50,000円÷0.2＝250,000通貨』という計算になり

25万通貨 (2ロット) 保有できるということになります。

意外と計算式に数字を当てはめると簡単になります。

では、次は「資金25万円」でトレードする場合も見ていきましょう。

・例えば「資金25万円」でトレードを行う場合

『資金×損失%＝損失許容額』であるため、資金25万円でトレードする場合は、

『25万円×5%＝12,500円』になり、

”12,500円以内”に損失を抑えるのが適切になります。

(250,000×0.05=12,500)

その為、USD/JPY (110.00) でエントリーをする場合に

損切りポイントが (109.80) だった場合は、損切幅が「0.2円」になりますので、

即ち「0.2=20pips」となります。

なので、『損失許容額÷損切り幅＝ポジション量』になりますので

『12,500円÷0.2＝62,500通貨』という計算になり

6万通貨 (0.6ロット) 保有できるということになります。

一見難しいように見えますが、意外と簡単になります。

資金管理についてや計算方法は上記の通りになりますので、
自分自身の資金と照らし合わせ、トレードする際には毎回適切なロット数の計算を行い
必ずその適切なロット数でトレードを行ってください。

また、損切りポイントに関しては、
エントリーに使用したラインを割ったポイントになります。

翼流損切り方法の詳細は、「トレードマニュアル」通りになります。

この方法で資金管理を行うことで自分の資金をしっかり管理し
守っていくことに繋がりますので、しっかり実践で活かして行ってください。



次は、第2章「2-1」に移ります。

(2) 安定的かつ勝率を上げるテクニカル判断方法

2-1… 相場の流れに徹底的に乗ってトレードしていく

では、ここからが「勝率向上書」の本題になります。

この第2章では、安定的かつ勝率を上げていく
テクニカル判断方法について学んでいただきます。

そして、まずその一つ目が

『相場の流れに徹底的に乗ってトレードしていく』方法になります。

ちなみに、この第2章の内容は翼流環境認識が前提の内容になります。

(翼流環境認識については、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

つまり、目線を分けるラインを引き「売り」「買い」の目線を判断し
その判断した目線内での内容になります。

その為、第2章「2-1」～「2-6」までは
全て翼流環境認識が前提の内容になりますので、
くれぐれもそこを履き違えないように注意してください。

そして、この「2-1」では、目線を分けるラインを使い判断した目線内で
さらに、相場に流れに乗っていくトレード方法を教えていきます。

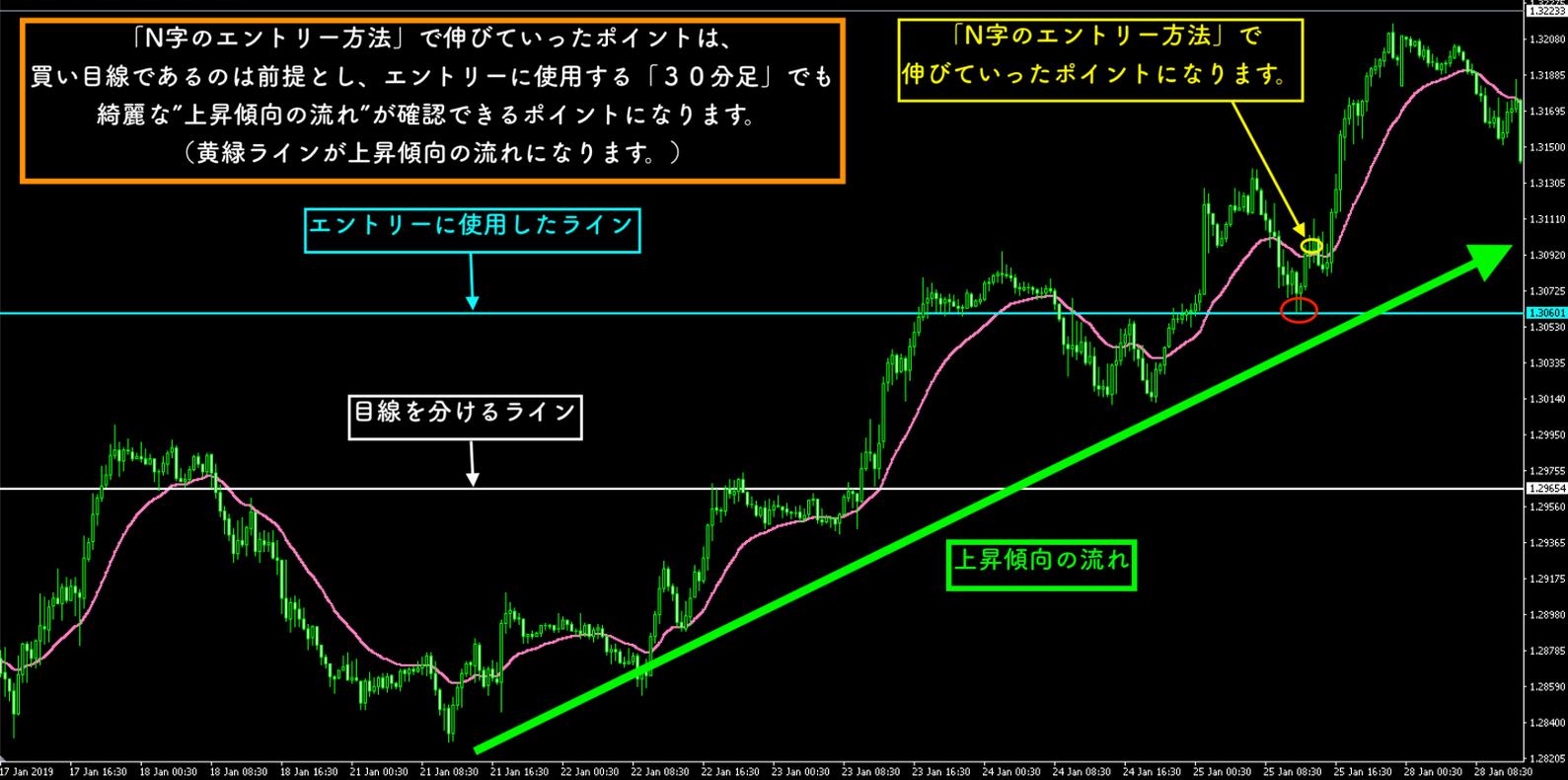
では、それは『どのようなものなのか?』と言いますと・・・

目線を分けるラインを使い「売り」「買い」の目線を区別し
その区別した目線内である、**エントリーに使用する時間足でも**
”相場の流れに乗ってトレード”していくことができるポイント
になります。

つまり、簡潔に話すと**”エントリーに使用する時間足”**でも
”相場の流れに乗ってトレード”していくことができるポイントということです。

では、その目線内のエントリーに使用する時間足でも
相場の流れに乗ってトレードしていくことができるポイントとは
『どのようなポイントなのか?』という部分を今から話していきます。

まずは、下の画像を見てください↓



上画像は、GBP/USDの30分足になります。

そして、目線を分けるラインが白ラインになりますので
 この目線を分けるラインを境に上ゾーンを「買い目線」と判断し
 買い目線内では買いのみのトレードを行っていくのが基本になります。
 (目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、エントリーに使用するラインが水色ラインになります。
 (エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

そうすると、水色ラインでサポートされましたので (赤丸)
 黄色丸のポイントで「N字のエントリー方法」でエントリーすることができるポイントになります。
 (N字のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それを踏まえてた上で、黄色丸のポイントは
 「買い目線」であるのは前提とし、**エントリーに使用する「30分足」**でも
綺麗な”上昇傾向の流れ”が確認できるポイントになります。
 (上画像の黄緑ラインが上昇傾向の流れになります。)

その為、このポイントは買い目線内でも
相場の流れに乗ってトレードしていくことができるポイントになるのです。

なので、その後の相場の動きを見ていただくと、
 かなり上昇し伸びているのが確認できます。

つまり、このことから「買い目線」であるのは前提とし、**エントリーに使用する「30分足」でも相場の流れに乗ってトレードしていくことができるポイント**は、より安定したトレードを行うことができると言えます。

何故なら、長期足の密な相場の流れに乗ってトレードしていくことができるポイントが目線を分けるラインを使って区別した目線内になります。

(上画像のGBP/USDの場合は、「買い目線内」になります。)

なので、その長期足で密な相場の流れに乗りさらに、エントリーに使用する時間足でも相場の流れに乗ってトレードしていくことで、徹底的に相場の流れに乗ることができるため、いつも以上に、“安定したトレード”を行うことができ、尚且つ“伸びていきやすいポイント”でエントリーしていくことができるのです。

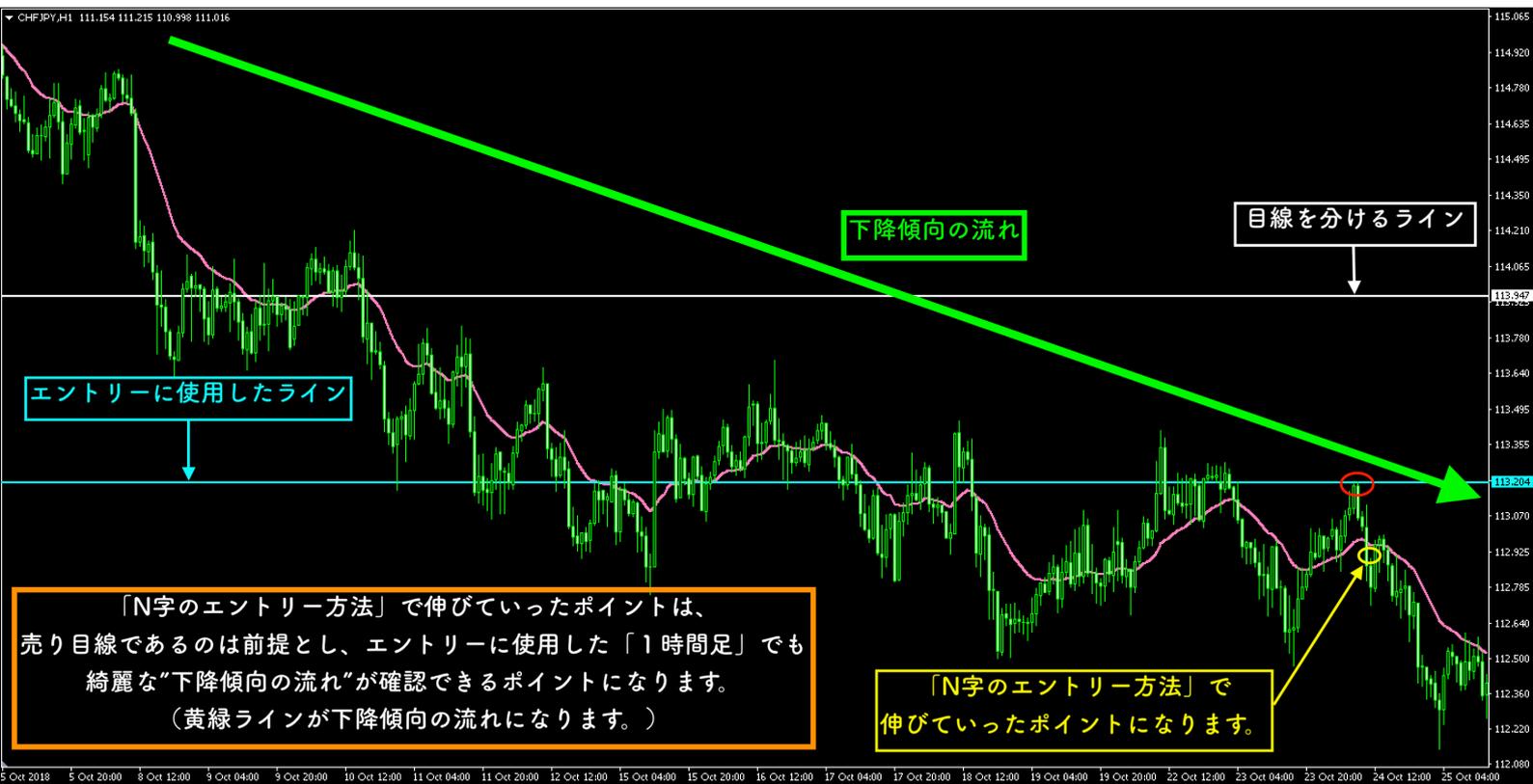
これが、「2-1」目線を分けるラインを使い判断した目線内でさらに、相場に流れに乗っていくトレード方法になります。

なので、今説明したポイントをしっかり抑えればいつも以上に安定し、勝率が高いポイントでエントリーすることができるという翼流テクニカル的判断方法になります。

それでは、先程は「買い目線内」で相場に流れに乗っていくポイントを紹介しましたので次は、「売り目線内」で相場の流れに乗ってトレードしていくことができるポイントを見ていただきます。

では、下の画像を見てください↓

次のページに移ります。



上画像は、CHF/JPYの1時間足になります。

そして、目線を分けるラインが白ラインになりますので
この目線を分けるラインを境に下ゾーンを「売り目線」と判断し
売り目線内では売りのみのトレードを行っていくのが基本になります。

(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、エントリーに使用するラインが水色ラインになります。

(エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

そうすると、水色ラインでレジスタンスされましたので (赤丸)

黄色丸のポイントで「N字のエントリー方法」でエントリーすることができるポイントになります。

(N字のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それを踏まえてた上で、黄色丸のポイントは

「売り目線」であるのは前提とし、**エントリーに使用する「1時間足」**でも
綺麗な“下降傾向の流れ”が確認できるポイントになります。

(上画像の黄緑ラインが下降傾向の流れになります。)

その為、このポイントは売り目線内でも

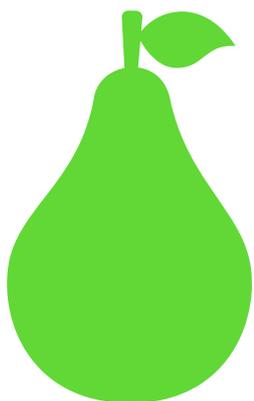
相場の流れに乗ってトレードしていくことができるポイントになるのです。

なので、その後の相場の動きを見ていただくと、
かなり下降し伸びているのが確認できます。

つまり、このことから「売り目線」であるのは前提とし、
エントリーに使用する「1時間足」でも
相場の流れに乗ってトレードしていくことができるポイントは、
より安定したトレードを行うことができると言えます。

以上が、「2-1」目線を分けるラインを使い判断した目線内で
さらに、相場に流れに乗っていくトレード方法になります。

つまり、今説明したポイントをしっかり抑えれば
いつも以上に安定し、勝率が高いポイントでエントリーすることができる
翼流テクニカルの判断方法になりますので
しっかり吸収し、実践でいかしていきましょう(^ω^)



次は、第2章「2-2」に移ります。

2-2… エントリーに使用するラインで安定を手に入れる

この「2-2」では、エントリーに使用するラインで
安定的なトレードを手に入れ、尚且つ勝率を上げていく方法について話していきます。

この「2-2」の内容も「2-1」同様に
目線を分けるラインを引き「売り」「買い」の目線を判断し
その判断した目線内での内容になります。
(つまり、翼流環境認識が前提の内容になります。)

まず「エントリーに使用するライン」とは、
目線内で最新の相場に対し、数多くの支持点が重なるポイントに引いていくラインになります。
(詳しい引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

では、エントリーに使用するラインを使い
さらに、安定したトレードを手に入れ、勝率を上げていくポイントとは
『一体どのようなものなのか?』と言いますと・・・
支持点が多ければ多い程、安定したトレードを行うことができ
尚且つ勝率も高いポイントでエントリーすることができるラインになります。

- ・つまり、数多くの支持点が重なれば重なるほど、
エントリーの根拠が増すため勝率が上がり
 - ・逆に、支持点が少なければ少ないほど、
エントリーの根拠が減るため勝率が下がる
- といった感じになります。

それに加え、**長期足（日足&4時間足）でも数多くの支持点が確認できるライン**は
こちらもエントリーの根拠が増すため、さらに安定したトレードを行うことができ
尚且つ勝率も高いポイントでエントリーすることができるラインになります。

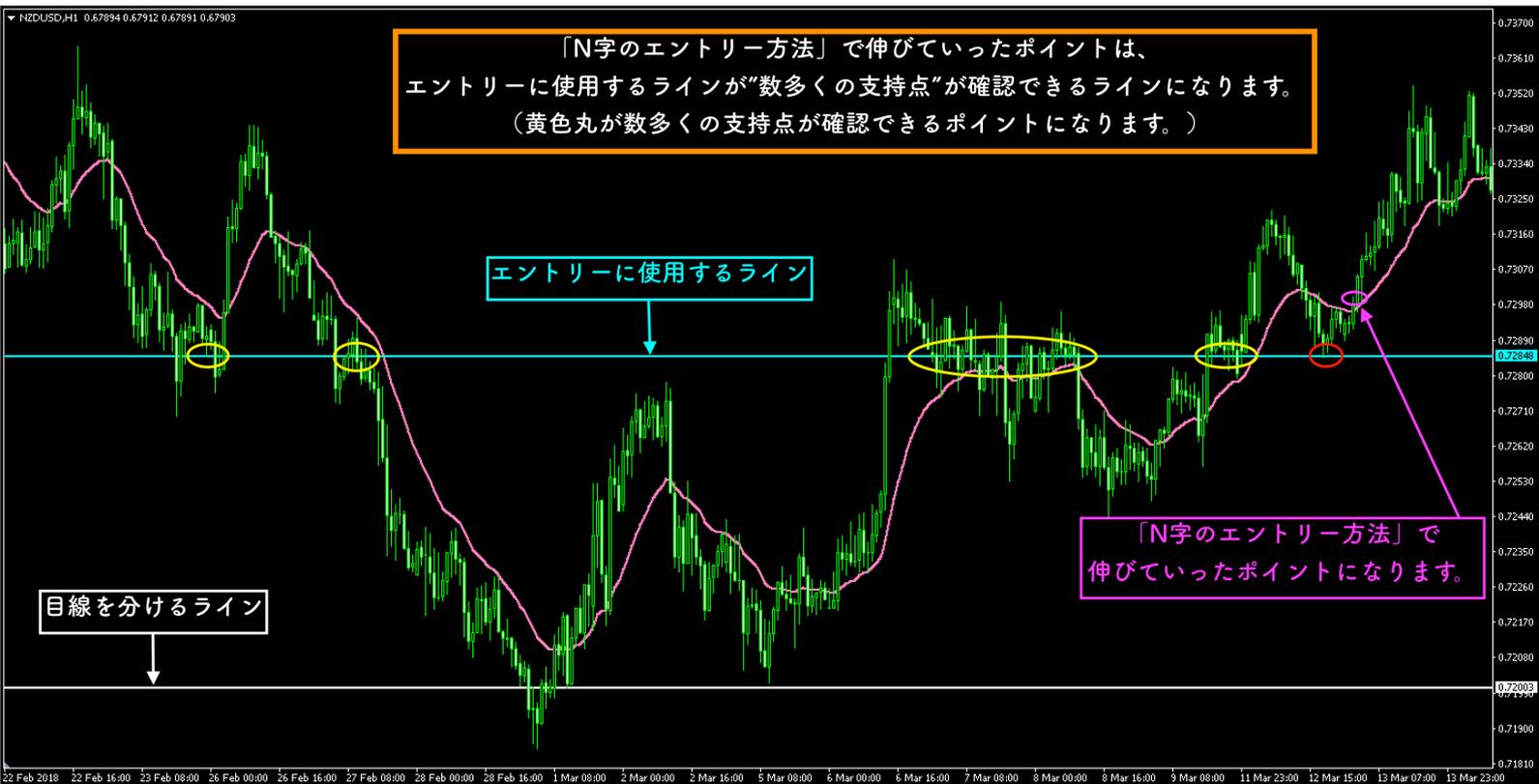
つまり、どういうことか?と言いますと・・・
エントリーに使用する時間足だけではなく**長期足（日足&4時間足）でも**
数多くの支持点が確認できるラインであればある程
安定したトレードを行うことができるラインになるのです。

何故なら、例えば「買いの場合」であれば
エントリーに使用するラインが長期足（日足&4時間足）でも数多くの支持点が確認できる場合
その固いラインを上抜け上昇し、さらにサポートされれば『下に行きたくてもいけない』という
状況がかなり固いものになるためです。

なので、固いラインであればある程エントリーの根拠が増してくるのです。

では、そのことを踏まえていただいた上で
エントリーに使用する時間足だけではなく
長期足（日足&4時間足）でも数多くの支持点を確認できるラインとは
『どのようなラインなのか?』という部分を実際の相場を確認していきます。

まずは、下の画像を見てください↓



上画像は、NZD/USDの1時間足になります。

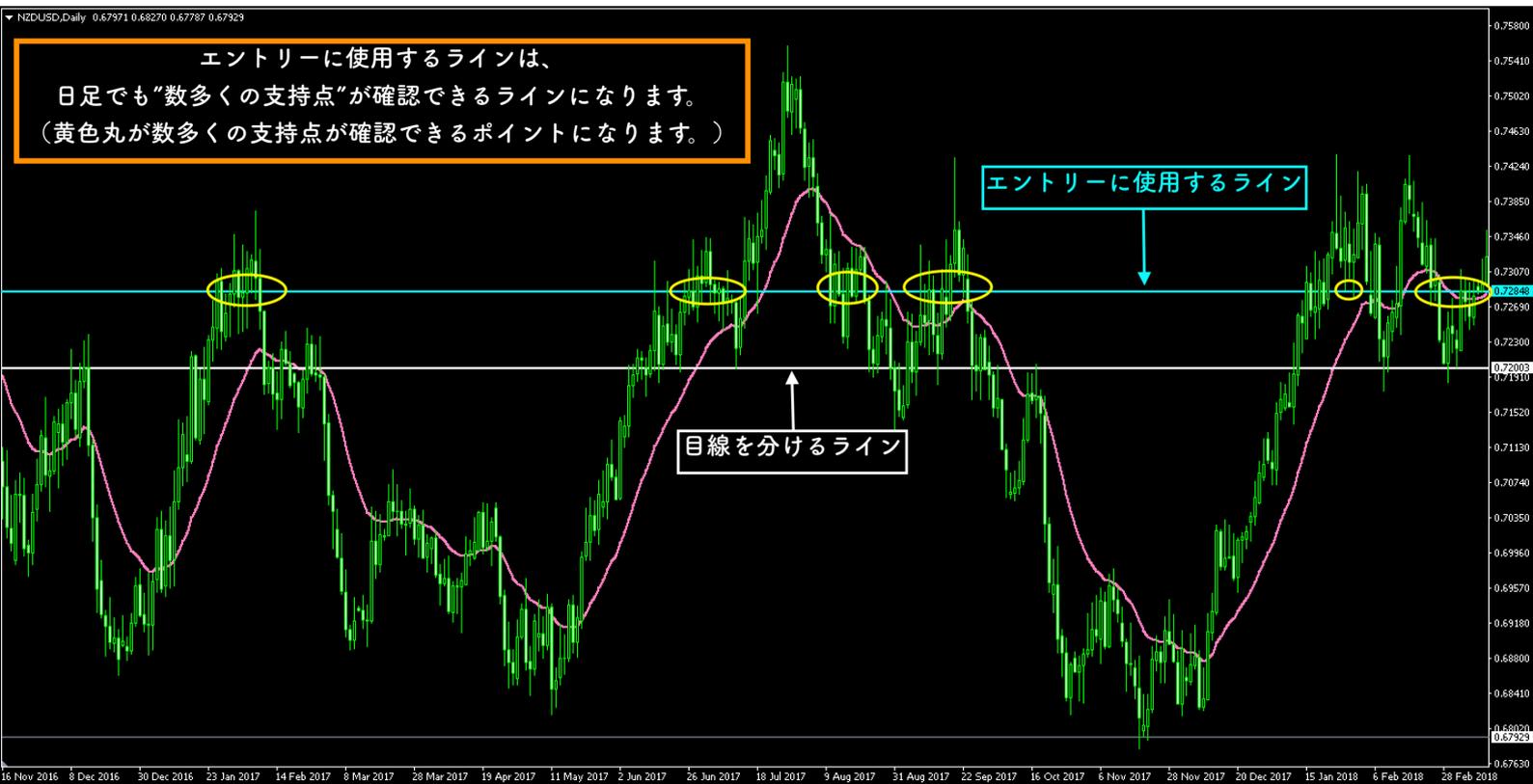
そして、目線を分けるラインが白ラインになりますので
この目線を分けるラインを境に上ゾーンを「買い目線」と判断し
買い目線内では買いのみのトレードを行っていくのが基本になります。
(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、その買い目線内でエントリーに使用するラインを引いています。
(エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

上画像の水色ラインを見ていただくと
黄色丸のポイントで数多くの支持点を確認できます。
(支持点に関しては、ロウソク足の実体&ヒゲ両方を見えています。)

なので、エントリーに使用するライン（水色ライン）は
意識されているラインと判断することができるのです。

では、このポイントを日足でも確認していきます。
下の画像を見てください↓



上画像は、NZD/USDの日足になります。

そして、先程と同じエントリーに使用するラインを日足で見いただくと
黄色丸のポイントで数多くの支持点が確認できるラインであることが分かります。
(支持点に関しては、ロウソク足の実体&ヒゲ両方を見ています。)

なので、このことからエントリーに使用するライン（水色ライン）は
エントリーに使用する時間足（1時間足）だけではなく
日足でも意識されている固いラインと判断することができるのです。

ちなみに、4時間足は省略していますが
エントリーに使用する（水色ライン）は、4時間足でも
数多くの支持点が確認できるラインになります。

以上のことを踏まえていただいた上で
NZD/USDの1時間足を使い「N字のエントリー方法」で伸びていったポイントは、
(NZD/USDの1時間足のピンク丸のポイントになります。)
エントリーに使用するラインが日足&4時間足でも意識されている固いラインであるため
その固いラインを上抜け上昇し、さらにサポートされれば（赤丸）
『下に行きたくてもいけない』という状況がかなり固いものになり
エントリーの根拠も増してくるため、そこからMAを絡めていくことで
安定し、勝率の高いポイントでエントリーすることができるのです。

「N字のエントリー方法」でエントリーすることができたポイントの
その後の相場の動きを見ていただくと、かなり上昇し伸びているのが確認できます。

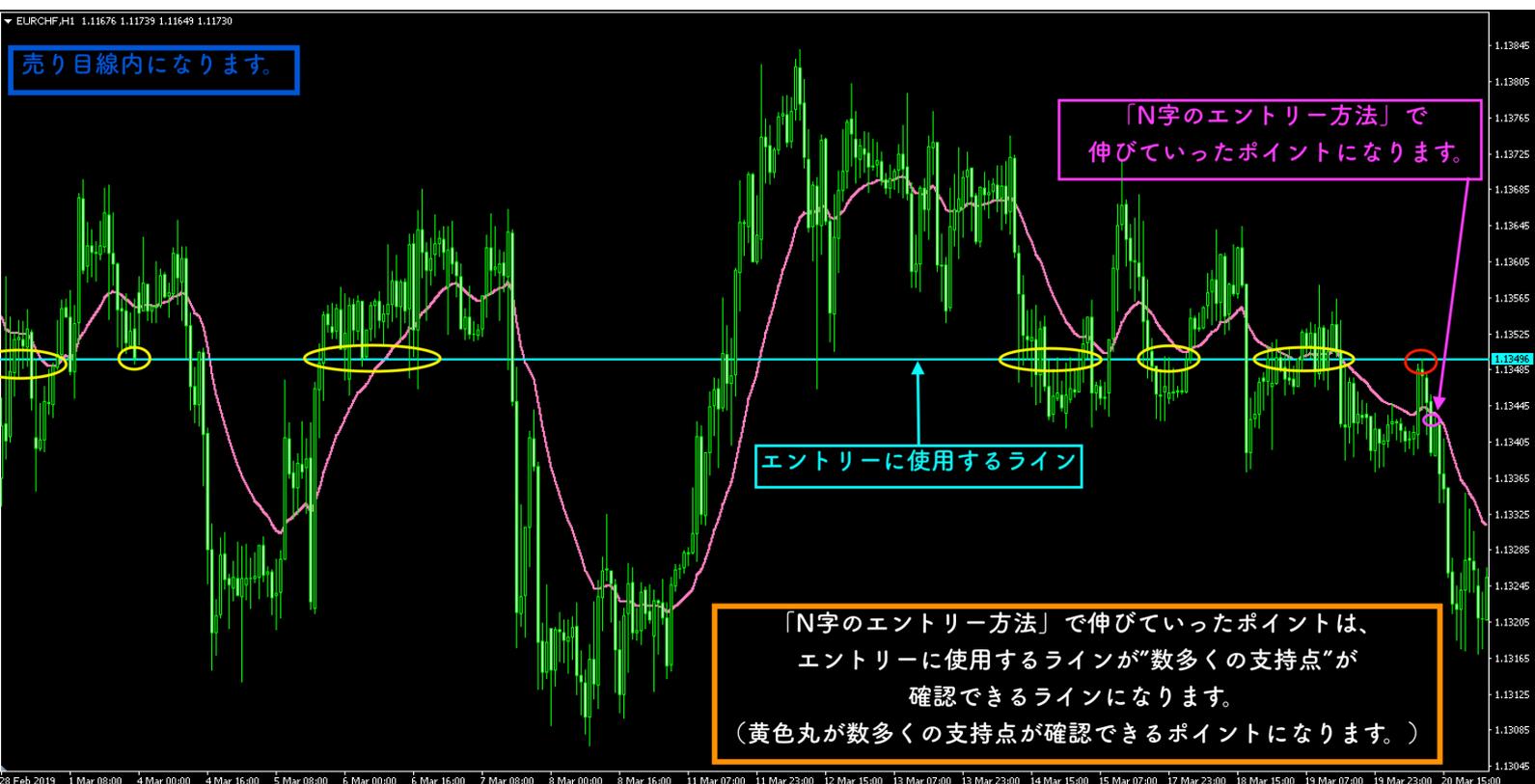
つまりこのことから、エントリーに使用時間足だけではなく
長期足（日足&4時間足）でも数多くの支持点を確認できるラインは
こちらもエントリーの根拠が増すため、さらに安定したトレードを行うことができ
尚且つ勝率も高いポイントでエントリーすることができると言えるのです。

これが、「2-2」エントリーに使用するラインで
安定的なトレードを手に入れ、尚且つ勝利を上げていく方法になります。

なので、今説明したポイントをしっかり抑えれば
いつも以上に安定し、勝率が高いポイントでエントリーすることができるという
翼流テクニカル判断方法になります。

それでは、先程は「買い目線内」でエントリーに使用する固いラインを引いていきましたので
次は、「売り目線内」でエントリーに使用する固いライン引いていき
トレードしていくことができるポイントを見ていただきます。

では、下の画像を見てください↓



上画像は、EUR/CHFの1時間足になります。

そして、目線を分けるラインは画像上には写っていませんが「売り目線内」になります。

目線を分けるラインを境に下ゾーンを「売り目線」と判断し

売り目線内では売りのみのトレードを行っていくのが基本になります。

(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、その売り目線内でエントリーに使用するラインを引いています。

(エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

上画像の水色ラインを見ていただくと

黄色丸のポイントで数多くの支持点が確認できます。

(支持点に関しては、ロウソク足の実体&ヒゲ両方を見ています。)

なので、エントリーに使用するライン (水色ライン) は

意識されているラインと判断することができるのです。

では、このポイントを目足でも確認していきます。

下の画像を見て下さい↓



上画像は、EUR/CHFの日足になります。

そして、先程と同じエントリーに使用するラインを目足で見ていただくと

黄色丸のポイントで数多くの支持点が確認できるラインであることが分かります。

(支持点に関しては、ロウソク足の実体&ヒゲ両方を見ています。)

なので、このことからエントリーに使用するライン（水色ライン）は
エントリーに使用する時間足（1時間足）だけではなく
日足でも意識されている固いラインと判断することができるのです。

ちなみに、4時間足は省略していますが
エントリーに使用する（水色ライン）は、4時間足でも
数多くの支持点が確認できるラインになります。

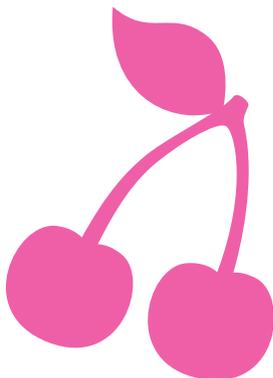
以上のことを踏まえていただいた上で
EUR/CHFの1時間足を使い「N字のエントリー方法」で伸びていったポイントは、
（EUR/CHFの1時間足のピンク丸のポイントになります。）
エントリーに使用するラインが日足&4時間足でも意識されている固いラインであるため
その固いラインを下抜け下降し、さらにレジスタンスされれば（赤丸）
『上に行きたくてもいけない』という状況がかなり固いものになり
エントリーの根拠も増してくるため、そこからMAを絡めていくことで
安定し、勝率の高いポイントでエントリーすることができるのです。

「N字のエントリー方法」でエントリーすることができたポイントの
その後の相場の動きを見ていただくと、かなり下降し伸びているのが確認できます。

つまりこのことから、エントリーに使用时间足だけではなく
長期足（日足&4時間足）でも数多くの支持点が確認できるラインは
こちらもエントリーの根拠が増すため、さらに安定したトレードを行うことができ
尚且つ勝率も高いポイントでエントリーすることができると言えるのです。

これが、「2-2」エントリーに使用するラインで
安定的なトレードを手に入れ、尚且つ勝利を上げていく方法になります。

つまり、今説明したポイントをしっかり抑えれば
いつも以上に安定し、勝率が高いポイントでエントリーすることができる
翼流テクニカル的判断方法になりますので
しっかり吸収し、実践でいかしていってくださいね！



次は、第2章「2-3」に移ります。

2-3… 適切な時間足の選択

この「2-3」では、エントリーを行う際に適切な時間足を選択しよりリスクを軽減し、安定したトレードを行う方法について話していきます。

なので、この「2-3」の内容もこれまで同様に目線を分けるラインを引き「売り」「買い」の目線を判断しその判断した目線内での内容になります。

(つまり、翼流環境認識が前提の内容になります。)

翼流エントリー方法は、「N字」などの基礎のエントリー方法からその基礎を土台にする応用のエントリー方法まで様々なエントリー方法があります。

だからこそ、最も基礎のエントリー方法である「N字のエントリー方法」の効果を最大限に発揮してトレードしていくことができるようにこの「2-3」では、適切な時間足の選択方法について学んでいただくのです。(その他のエントリー方法でも使用することが可能になります。)

では、その適切な時間足の選択方法とは

『一体どのようなものなのか?』と言いますと・・・

ロウソク足の「N字」の形成が小さ過ぎず、大き過ぎず”適切な時間足”を選択する方法になります。

つまり、エントリーを行う際はロウソク足の「N字」や「W字」などの形成が**小さ過ぎず、大き過ぎず”見やすい時間足”**を使用してエントリーを行うべきということになります。

というのも、適切な時間足を選択し、その適切な時間足でMAをしっかり絡めていくことでエントリーのタイミングもバッチリ合ってきますし、よりリスクを軽減したポイントでエントリーすることができるからです。

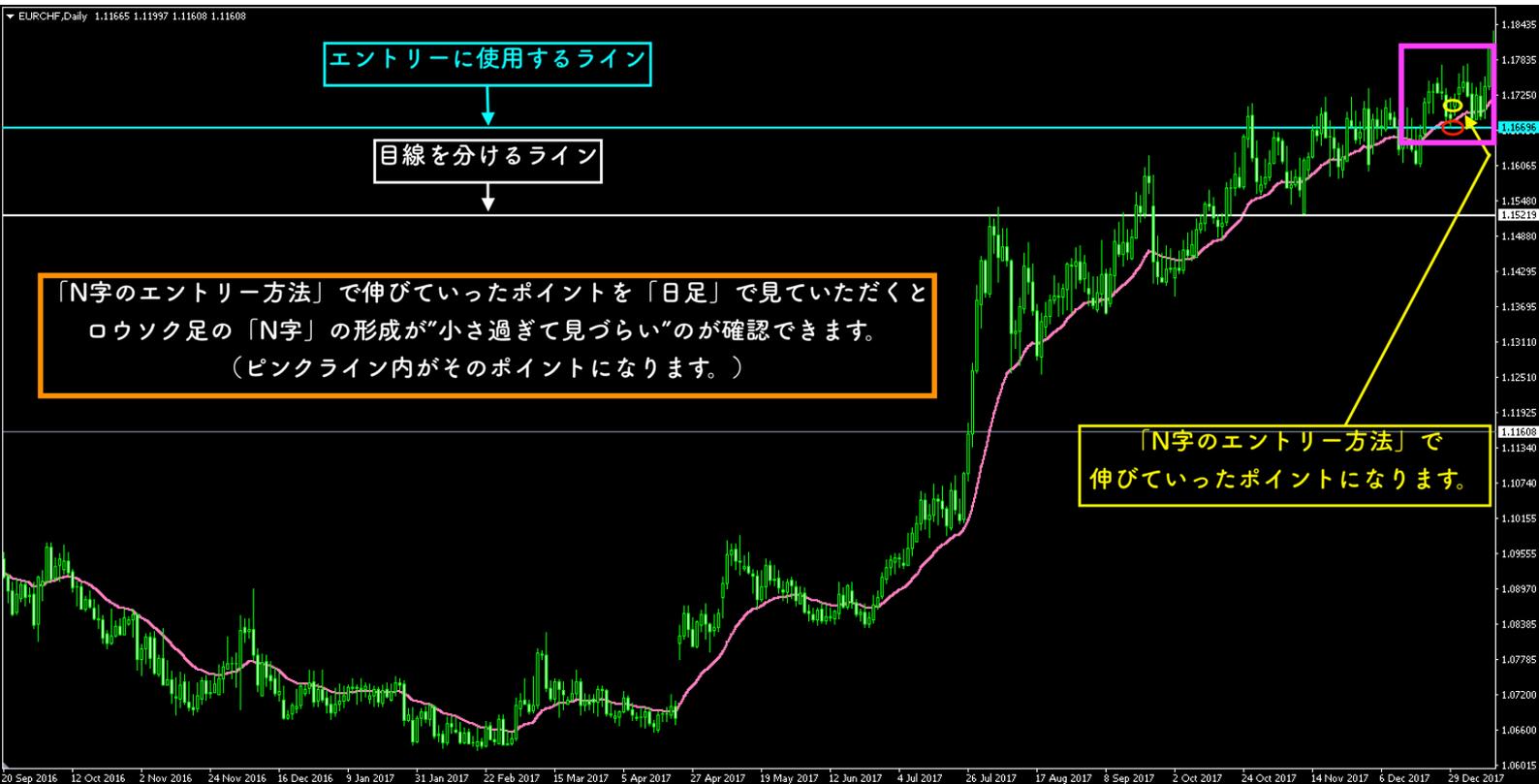
なので、ロウソク足の形成は、小さ過ぎず、大き過ぎず適切な時間足を選んでいく必要があるのです。

ちなみに、翼流エントリー方法は「5分足」から「日足」まで使用できるエントリー方法になりますので、皆さんのトレードスタイルに合った時間足でトレードしていただいでOKになります。

ただし、その際には今話したポイントをしっかり守っていただく必要があります。

では、そのことを踏まえていただいた上で
ロウソク足の「N字」の形成が小さ過ぎず、大き過ぎず適切な時間足の選択とは
『どのようなポイントなのか?』という部分を実際の相場で確認していきます。

まずは、下の画像を見てください↓



上画像は、EUR/CHFの日足になります。

そして、目線を分けるラインが白ラインになりますので
この目線を分けるラインを境に上ゾーンを「買い目線」と判断し
買い目線内では買いのみのトレードを行っていくのが基本になります。
(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、エントリーに使用するラインが水色ラインになります。
(エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

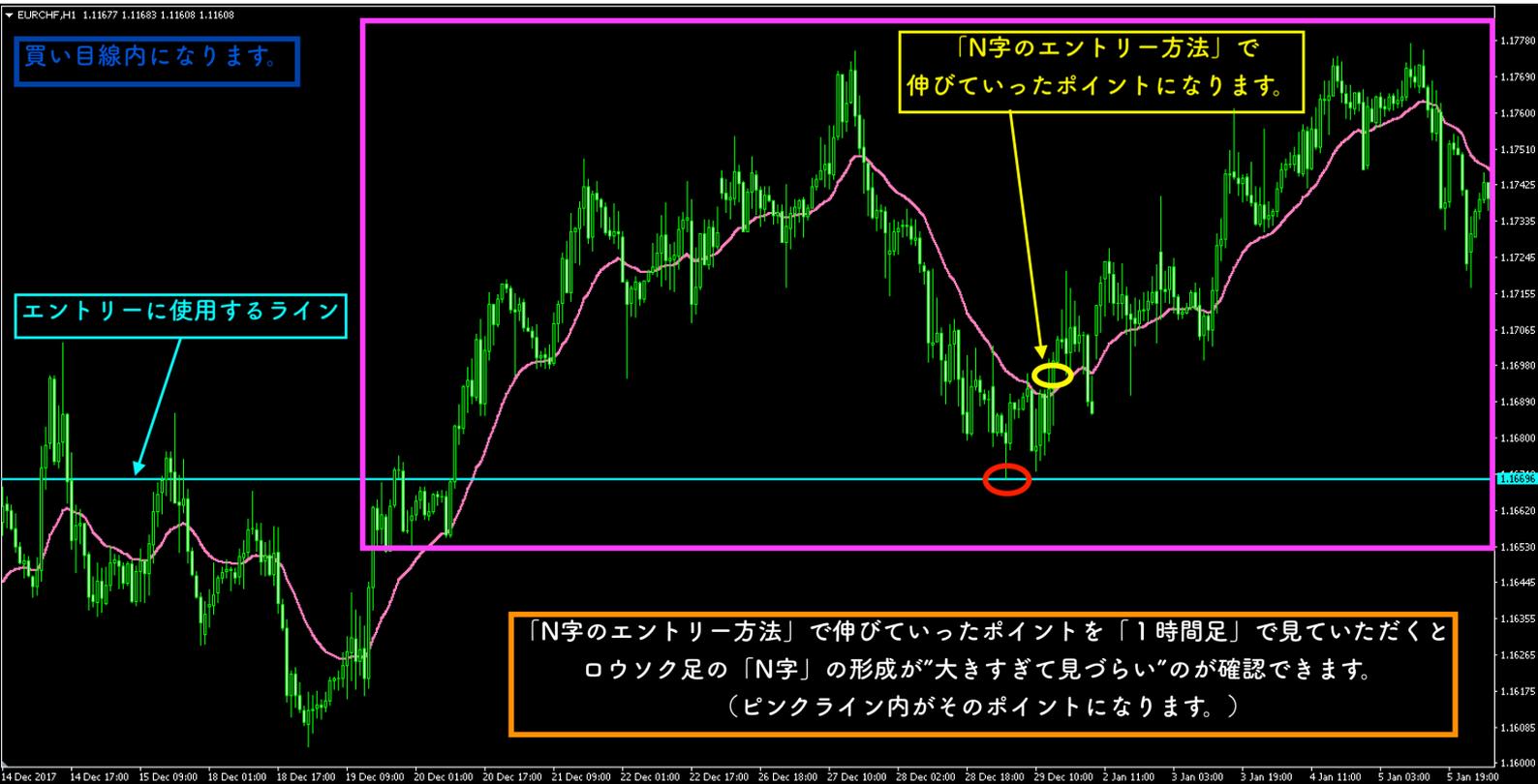
そうすると、水色ラインでサポートされましたので (赤丸)
黄色丸のポイントで「N字のエントリー方法」でエントリーすることができるポイントになります。
(N字のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それを踏まえてた上で、黄色丸のポイントは
「買い目線」であるのは前提とし、エントリーに使用する「日足」では
ロウソク足の「N字」の形成が「小さ過ぎて」見づらいのが確認できます。
(ピンクライン内がそのポイントになります。)

その為、このポイントは”日足を使って狙うべきポイントではない”という判断をすることができるのです。

では、そのことを踏まえ上画像のピンクライン内のポイントを他の時間足でも確認していただきながら適切な時間足をしっかり覚えていただきます。

では、下の画像を見てください↓



上画像は、EUR/CHFの1時間になり
目線を分けるラインは画像上には写っていませんが「買い目線内」になります。

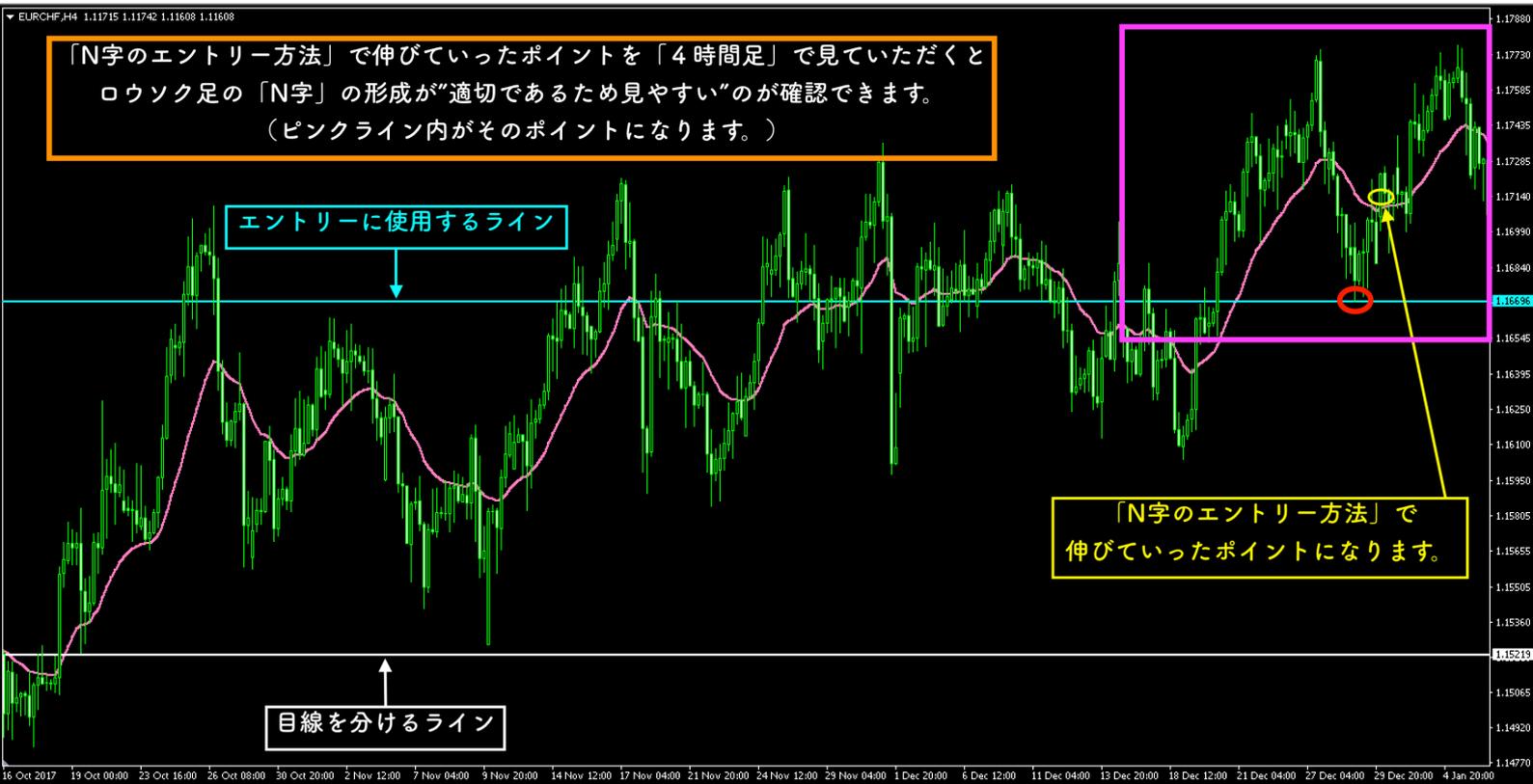
そして、ピンクライン内は先程の日足と同じポイントになります。
(黄色丸は先程と同じく「N字のエントリー方法」で伸びていったポイントです。)

それを踏まえてた上で、黄色丸のポイントは
「買い目線」であるのは前提とし、エントリーに使用する「1時間足」では
ロウソク足の「N字」の形成が”大き過ぎて”見づらいのが確認できます。
(ピンクライン内がそのポイントになります。)

その為、このポイントは”1時間足を使って狙うべきポイントではない”という判断をすることができるのです。

では、そのことを踏まえ上画像のピンクライン内のポイントを再度、他の時間足でも確認していただき適切な時間足をしっかり覚えていただきます。

では、下の画像を見てください↓



上画像は、EUR/CHFの4時間になり

目線を分けるラインは白ラインのポイントになり「買い目線内」になります。

そして、ピンクライン内は先程の日足&1時間足と同じポイントになります。

(黄色丸は先程と同じく「N字のエントリー方法」で伸びていったポイントです。)

それを踏まえてた上で、黄色丸のポイントは

「買い目線」であるのは前提とし、エントリーに使用する「4時間足」では

ロウソク足の「N字」の形成が適切であるため見やすいのが確認できます。

(ピンクライン内がそのポイントになります。)

その為、このポイントは”4時間足を使って狙うべきポイント”という判断をすることができるのです。

「N字のエントリー方法」でエントリーすることができたポイントの
その後の相場の動きを見ていただくと、かなり上昇し伸びているのが確認できます。

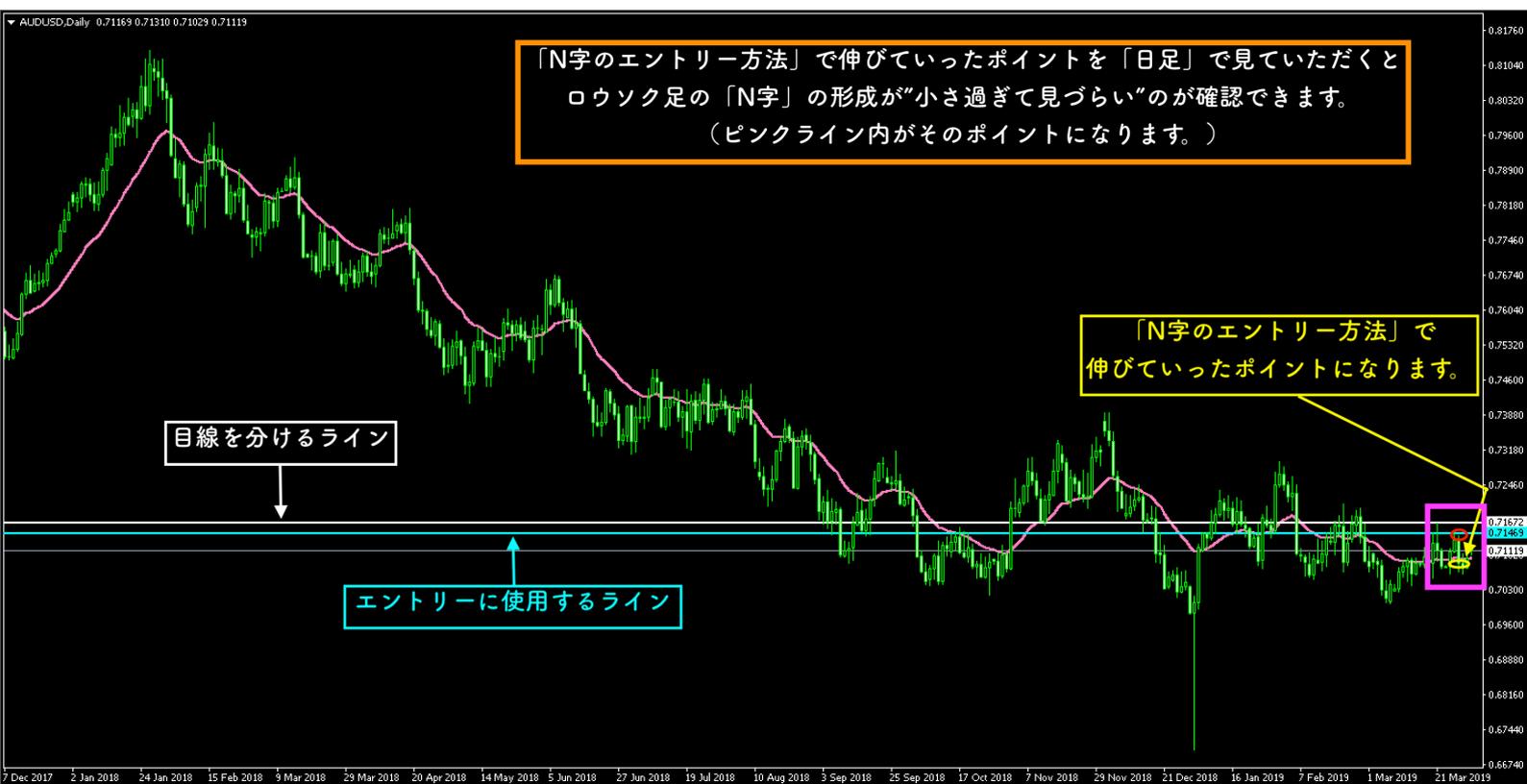
なので、この黄色丸のポイントは4時間足を使ってエントリーしていくことで
エントリーのタイミングもバッチリ合ってきますし、
よりリスクも低く抑えたポイントでエントリーしていくことができるのです。

これが、「2-3」エントリーを行う際に適切な時間足を選択し
よりリスクを軽減し、安定したトレードを行う方法になります。

なので、今説明したポイントをしっかり抑えれば
いつも以上に安定し、勝率が高いポイントでエントリーすることができるという
翼流テクニカル的判断方法になります。

それでは、先程は「買い目線内」でエントリーを行う際の時間足の選択を見てきましたので
次は、「売り目線内」でエントリーを行う際の時間足の選択について見ていただきます。

では、下の画像を見てください↓



上画像は、AUD/USDの日足になります。

そして、目線を分けるラインが白ラインになりますので
この目線を分けるラインを境に下ゾーンを「売り目線」と判断し
売り目線内では売りのみのトレードを行っていくのが基本になります。
(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、エントリーに使用するラインが水色ラインになります。
(エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

そうすると、水色ラインでレジスタンスされましたので (赤丸)
黄色丸のポイントで「N字のエントリー方法」でエントリーすることができるポイントになります。
(N字のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それを踏まえてた上で、黄色丸のポイントは
「売り目線」であるのは前提とし、エントリーに使用する「日足」では
ロウソク足の「N字」の形成が”小さ過ぎて”見づらいのが確認できます。
(ピンクライン内がそのポイントになります。)

というか、小さ過ぎてはやなんだか分からないですよ (笑)

その為、このポイントは”日足を使って狙うべきポイントではない”という
判断をすることができるのです。

では、そのことを踏まえ上画像のピンクライン内のポイントを
他の時間足でも確認していただき適切な時間足をしっかり覚えていただきます。

では、下の画像を見てください↓



上画像は、AUD/USDの1時間になり
目線を分けるラインは白ラインのポイントになり「売り目線内」になります。

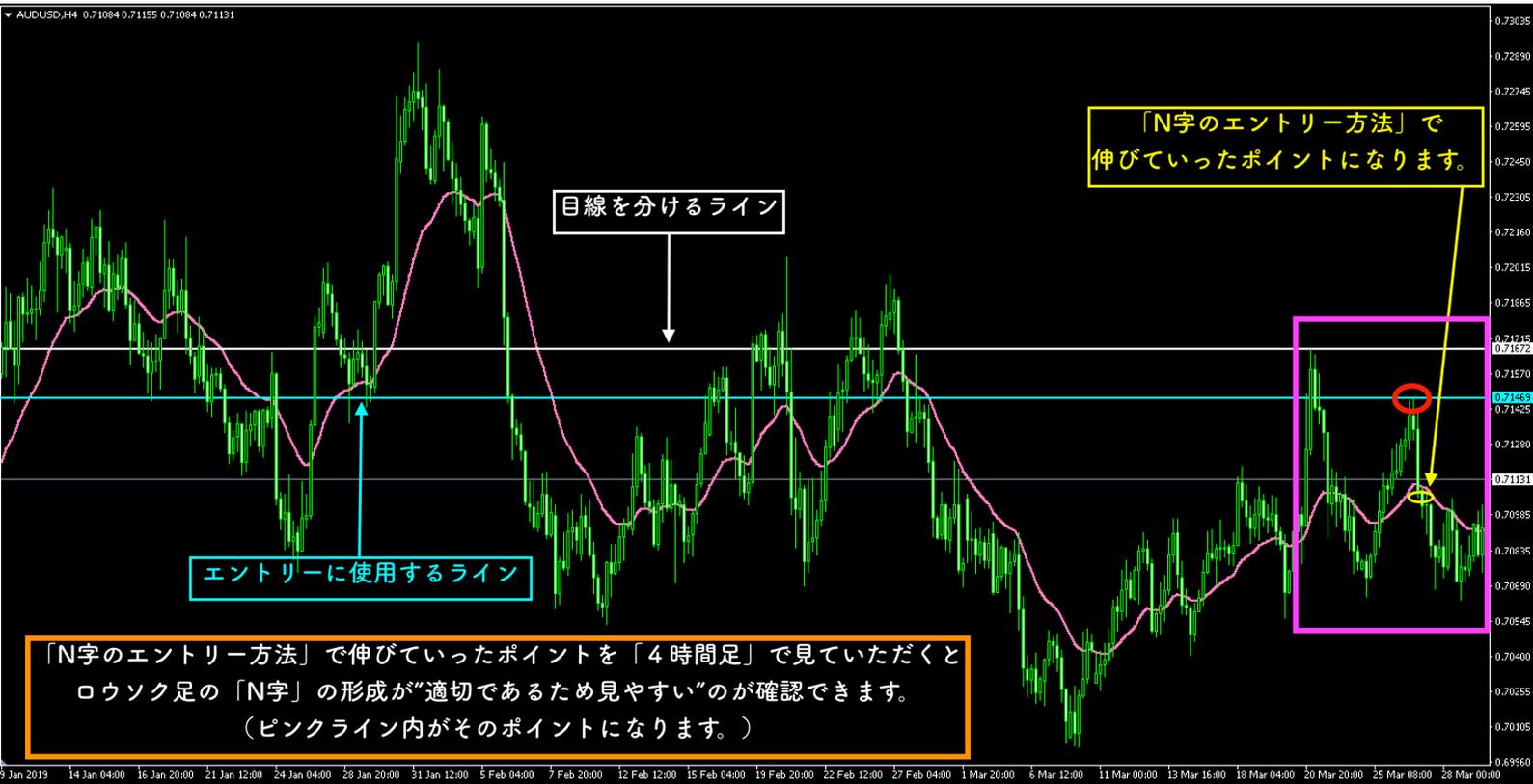
そして、ピンクライン内は先程の日足と同じポイントになります。
(黄色丸は先程と同じく「N字のエントリー方法」で伸びていったポイントです。)

それを踏まえてた上で、黄色丸のポイントは
「売り目線」であるのは前提とし、エントリーに使用する「1時間足」では
ロウソク足の「N字」の形成が”大き過ぎて”見づらいのが確認できます。

(ピンクライン内がそのポイントになります。)

その為、このポイントは”1時間足を使って狙うべきポイントではない”という判断をすることができるのです。

では、そのことを踏まえ上画像のピンクライン内のポイントを再度、他の時間足でも確認していただき適切な時間足をしっかり覚えていただきます。では、下の画像を見てください↓



上画像は、AUD/USDの4時間になり目線を分けるラインは白ラインのポイントになり「売り目線内」になります。

そして、ピンクライン内は先程の日足&1時間足と同じポイントになります。(黄色丸は先程と同じく「N字のエントリー方法」で伸びていったポイントです。)

それを踏まえてた上で、黄色丸のポイントは「売り目線」であるのは前提とし、エントリーに使用する「4時間足」ではロウソク足の「N字」の形成が”適切であるため見やすい”が確認できます。(ピンクライン内がそのポイントになります。)

その為、このポイントは”4時間足を使って狙うべきポイント”という判断をすることができるのです。

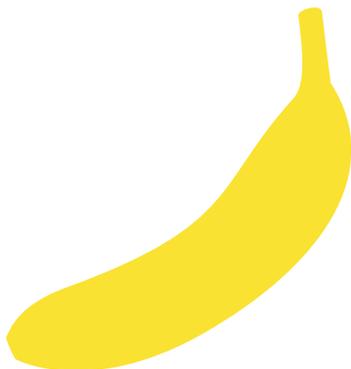
「N字のエントリー方法」でエントリーすることができたポイントのその後の相場の動きを見ていただくと、下降し伸びているのが確認できます。

なので、この黄色丸のポイントは4時間足を使ってエントリーしていくことで
エントリーのタイミングもバッチリ合ってきますし、
よりリスクも低く抑えたポイントでエントリーしていくことができるのです。

ちなみに、今回紹介した2つの相場の場合では
1つの時間足のみが適切な時間足と判断することができましたが
相場によっては2つの時間足で適切な時間足となる場合もありますので
その際は**その適切な2つの時間足のどちらか片方を選択していただく感じでOK**になります。

以上が「2-3」エントリーを行う際に適切な時間足を選択し
よりリスクを軽減し、安定したトレードを行う方法になります。

ですので、今説明したポイントをしっかり抑えれば
いつも以上に安定し、勝率が高いポイントでエントリーすることができる
翼流テクニカル判断方法になりますので
しっかり吸収し、実践でいかしていきましょう。



次は、第2章「2-4」に移ります。

2-4… ロウソク足の形成で勝率を見極める

この「2-4」では、エントリーを行う際にロウソク足の「N字」形成で勝率を見極めていく方法について話していきます。

なので、この「2-4」の内容もこれまで同様に目線を分けるラインを引き「売り」「買い」の目線を判断しその判断した目線内での内容になります。

(つまり、翼流環境認識が前提の内容になります。)

ちなみに、ロウソク足の「N字」の形成とは・・・

買いの場合であれば、エントリーに使用するラインを上抜けしてからさらにサポートされMAも上抜けするところまでが「N字」の形成になります。

(N字のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

なので、ロウソク足の「N字」や「W字」などの形成は翼はいつも『どこまでの部分を見ているのか?』という点をしっかり学んでいただきこれから話すことをしっかり吸収してってください。

では、そのロウソク足の「N字」の形成で勝率を見極めていく方法にとは『一体どのようなものなのか?』と言いますと・・・

- ・ロウソク足の「N字」の形成が**”ヒゲが少なく半円”を描くように、綺麗な形成は勝率が高いポイントになります。**

つまり、逆を言うと・・・

- ・ロウソク足の「N字」の形成が半円とは程遠くなり**”崩れ歪”になればなるほど、リスクが高くなり損失に繋がりやすいポイントになります。**

何故なら、半円を描くような綺麗な「N字」の形成は世界中のトレーダーも認識しやすく、注目するポイントになりますので、伸びていく傾向が非常に高いんです。

ですので、逆にロウソク足の「N字」の形成が半円とは程遠く”崩れ歪”になればなるほど世界中のトレーダーも注目しないポイントになるため、伸びていきにくくなるのです。

これは、大衆の心理を利用して行っている翼流のテクニカル判断方法になるのですが私が実際に多くの検証やこれまでの経験も元に分析判断している方法になります。

これまで話してきた内容も全てそうですが
こうした翼流のテクニカル判断方法は、トレードを行う際に実際に私が行っている
判断方法になりますので、しっかり学び実践して行って欲しいです。

では、そのことを踏まえていただいた上で
ロウソク足の「N字」の形成が”ヒゲが少なく半円”を描くように綺麗な形成とは
『どのようなポイントなのか?』という部分を実際の相場を確認していきます。

まずは、下の画像を見てください↓



上画像は、GBP/JPYの4時間足になります。

そして、目線を分けるラインが白ラインになりますので
この目線を分けるラインを境に上ゾーンを「買い目線」と判断し
買い目線内では買いのみのトレードを行なっていくのが基本になります。
(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、エントリーに使用するラインが水色ラインになります。
(エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

そうすると、水色ラインでサポートされましたので (赤丸)
黄色丸のポイントで「N字のエントリー方法」でエントリーすることができるようになります。
(N字のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

ちなみに、冒頭でも話している通り

エントリーに使用するラインを上抜けてから、さらにサポートされ（赤丸）
MAも上抜けしているところまでが「N字」の形成になります。

それを踏まえてた上で、黄色丸のポイントは

ロウソク足の「N字」の形成が”ヒゲが少なく半円”を描くように綺麗な形成
であるのが確認できます。

（ピンクラインのポイントがロウソク足の「N字」の形成になります。）

そして、「N字のエントリー方法」でエントリーすることができたポイントの
その後の相場の動きを見ていただくと、かなり上昇し伸びているのが確認できます。

つまりこのことから、ロウソク足の「N字」の形成は
”ヒゲが少なく半円”を描くように綺麗な形成であるポイントは、
勝率が高く伸びていくやすいポイントと言えるのです。

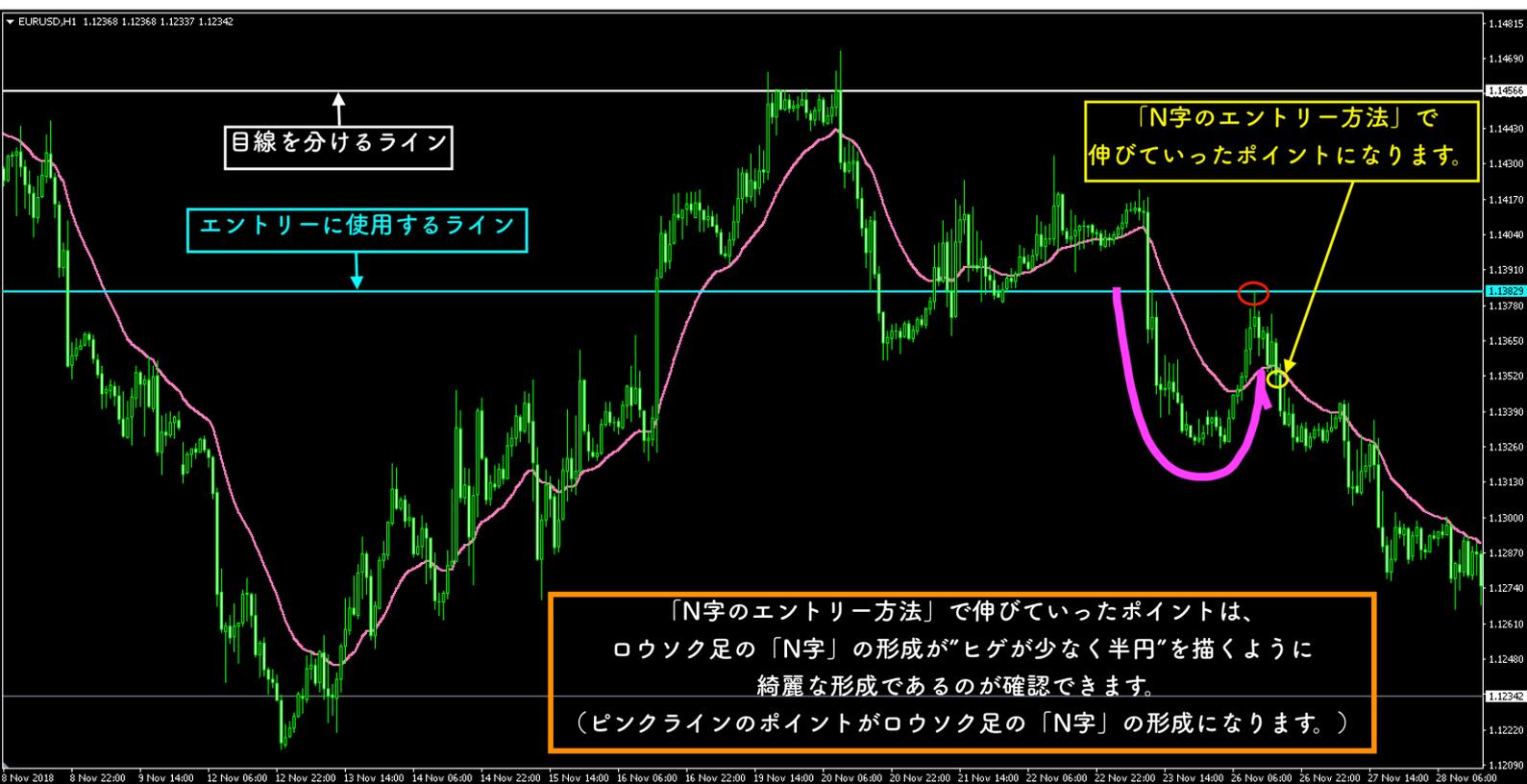
これが、「2-4」エントリーを行う際に
ロウソク足の「N字」形成で勝率を見極めていく方法になります。

なので、今説明したポイントをしっかり抑えれば
いつも以上に安定し、勝率が高いポイントでエントリーすることができるという
翼流テクニカル的判断方法になります。

それでは、先程は「買いの場合」の綺麗なロウソク足の「N字」の形成を見ていただきましたので
次は、「売りの場合」の綺麗なロウソク足の「N字」の形成を見ていただき
その形をしっかり頭に叩き込んでいただきます。

では、下の画像を見てください↓

次のページに移ります。



上画像は、EUR/USDの1時間足になります。

そして、目線を分けるラインが白ラインになりますので
 この目線を分けるラインを境に下ゾーンを「売り目線」と判断し
 売り目線内では売りのみのトレードを行なっていくのが基本になります。
 (目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、エントリーに使用するラインが水色ラインになります。
 (エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

そうすると、水色ラインでレジスタンスされましたので (赤丸)
 黄色丸のポイントで「N字のエントリー方法」でエントリーすることができるポイントになります。
 (N字のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

ちなみに、冒頭でも話している通り
 エントリーに使用するラインを下抜けてから、さらにレジスタンスされ (赤丸)
 MAも下抜けしているところまでが「N字」の形成になります。

それを踏まえてた上で、黄色丸のポイントは
 ロウソク足の「N字」の形成が”ヒゲが少なく半円”を描くように綺麗な形成
 であるのが確認できます。
 (ピンクラインのポイントがロウソク足の「N字」の形成になります。)

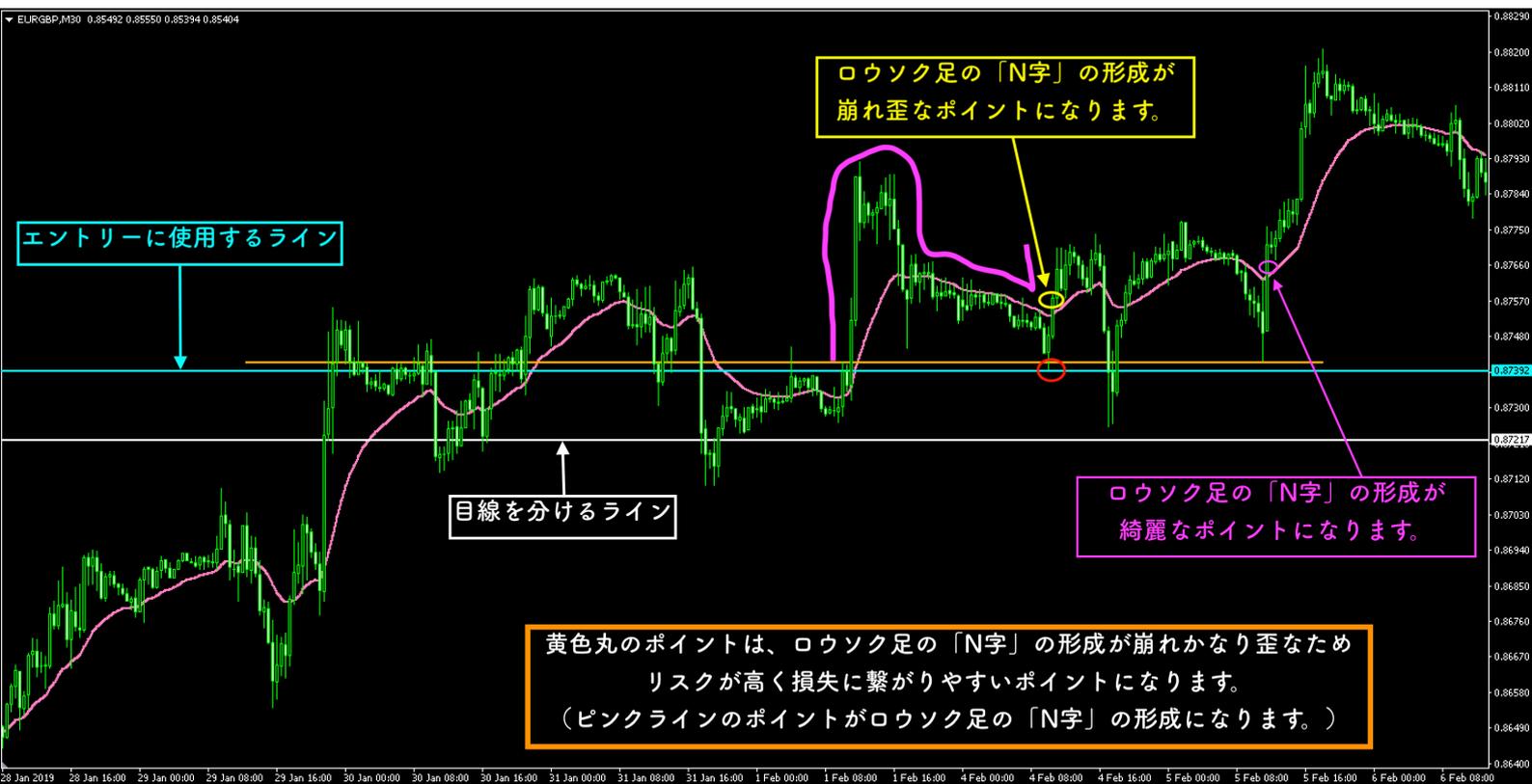
そして、「N字のエントリー方法」でエントリーすることができたポイントの
その後の相場の動きを見ていただくと、かなり下降し伸びているのが確認できます。

つまりこのことから、ロウソク足の「N字」の形成は
”ヒゲが少なく半円”を描くように綺麗な形成であるポイントは、
勝率が高く伸びていくやすいポイントと言えるのです。

このように、ロウソク足の形成具合で勝率を見極めることで
より自信を持ってエントリーしていくことができますので
皆さん自身でトレードをしていく際には、ロウソク足の「N字」や「W字」などの
形成にしっかり注目しながらトレードしてってください。

ではこれまでは、ロウソク足の「N字」の形成が
”ヒゲが少なく半円”を描くように綺麗なポイントを見ていただきましたので
次は、逆にロウソク足の「N字」の形成が”崩れ歪”なポイントを見ていただきます。

では、下の画像を見てください↓



上画像は、EUR/GBPの30分足になります。

そして、目線を分けるラインを境に上ゾーンを「買い目線」と判断します。
(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、エントリーに使用するラインが水色ラインになります。

(エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

そうすると、水色ラインでサポートされましたので (赤丸)

「N字のエントリー方法」で狙えるポイントではありますが・・・

この黄色丸のポイントは、ロウソク足の「N字」の形成が半円とは程遠くなり

崩れかなり歪になってしまったため、リスクが高く損失に繋がりやすいポイントになります。

(ピンクラインのポイントがロウソク足の「N字」の形成になります。)

なので、今回のピンクラインのようにロウソク足の形成が崩れ歪になったポイントは、エントリーを行うのはおすすめでできないポイントになります。

というのも、仮に黄色丸のポイントでエントリーしても

その後の相場の動きは、あまり上昇することなく揉み急落しているのが確認できます。

ですので、このことからロウソク足の「N字」の形成が

”崩れ歪”になればなるほどリスクが高くなり、損失に繋がりやすいポイント

ということが言えるのです。

ちなみに、右隣のオレンジラインでサポートされたポイントは

ロウソク足の「N字」の形成が”ヒゲが少なく半円”を描くように綺麗な形成なのが確認できます。

(ピンク丸でエントリーすることができ伸びていったポイントになります。)

上画像で歪な「N字」(黄色丸のポイント)と綺麗な「N字」(ピンク丸のポイント)をよく見比べ違いをしっかりと頭に叩き込んでください。

つまり、今説明したようにロウソク足の形成が崩れ歪になった場合は

リスクが高く損失に繋がりやすいポイントになるため、

ロウソク足の形成具合で予めリスクが高いポイントでのエントリーも避けることができるのです。

それでは、先程は「買いの場合」の歪なロウソク足の「N字」の形成を見ていただきましたので

次は、「売りの場合」の歪なロウソク足の「N字」の形成を見ていただき

その形をしっかり覚えていただきます。

では、下の画像を見てください↓

次のページに移ります。



上画像は、EUR/GBPの30分足になります。

そして、目線を分けるラインを境に下ゾーンを「売り目線」と判断します。

(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、エントリーに使用するラインが水色ラインになります。

(エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

そうすると、水色ラインでレジスタンスされましたので(赤丸)

「N字のエントリー方法」で狙えるポイントではありますが・・・

この黄色丸のポイントは、ロウソク足の「N字」の形成が半円とは程遠くなり

崩れかなり歪になってしまったため、リスクが高く損失に繋がりやすいポイントになります。

(ピンクラインのポイントがロウソク足の「N字」の形成になります。)

なので、ここまでロウソク足の形成が崩れた場合は

エントリーを見送った方が良いポイントになるんです。

というのも、仮に黄色丸のポイントでエントリーしても

その後の相場の動きは、全く下降することなく戻しているのが確認できます。

ですので、このことからロウソク足の「N字」の形成が

”崩れ歪”になればなるほどリスクが高くなり、損失に繋がりやすいポイント

ということが言えるのです。

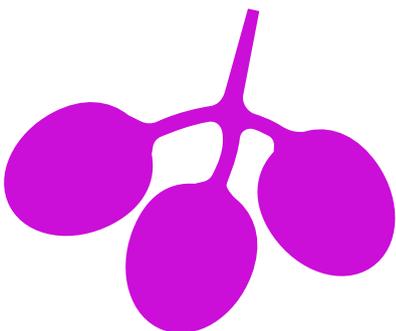
ですので、今説明したようにロウソク足の形成が崩れ歪になった場合は
リスクが高く損失に繋がりやすいポイントになるため、見送るべきになりますので
ロウソク足の形成具合で予めリスクが高いポイントでのエントリーも避けることができるのです。

ちなみに、どこまでロウソク足の形成が崩れ歪になれば
『エントリーを見送った方が良いのか?』に関しては、
その時のロウソク足の形成具合によりますので、一概には言えないものになるのですが
上画像のEUR/GBPの2つの例を基準にしてください。
(ロウソク足の「N字」の形成が崩れた例)

つまり、上画像のEUR/GBPの2つの例のように
ロウソク足の形成が崩れ歪になった場合は、リスクが高くなるので
見送るべきということになります。

以上が「2-4」エントリーを行う際にロウソク足の「N字」形成で
勝率を見極めていく方法についてになります。

これまで話してきたロウソク足の「N字」の形成具合で
勝率が高いポイントや逆に低いポイントもしっかり見極めることができますので
この翼流テクニカルの判断方法をしっかりと吸収し、実践でいかして行ってください。



次は、第2章「2-5」に移ります。

2-5… MA抜けの際のロウソク足について

この「2-5」では、エントリーを行う際のMA抜けのロウソク足の確定について詳しく話していきます。

なので、この「2-5」の内容もこれまで同様に目線を分けるラインを引き「売り」「買い」の目線を判断しその判断した目線内での内容になります。

(つまり、翼流環境認識が前提の内容になります。)

まず翼流エントリー方法は、ほとんどの場合エントリーを行う際にMAを抜けたポイントでエントリーを行います。

そして、そのMA抜けの際のロウソク足の確定に関しては、生徒さん自身の判断に任せているものになります。

まあ、任せているとは言いつつも・・・

このMA抜けの際のロウソク足の確定を待つ「メリット」と「デメリット」をしっかり理解していただき、その上で一番良い方法を選択していく方法についてこの「2-5」では話していきます。

では、**メリット**の方から話していくと、

MA抜けの際にロウソク足の確定を待つことで

”ヒゲで止められ戻してくる動き”を回避することができます。

なので、通常よりもリスクを軽減したポイントでエントリーすることができるのです。

それでは、次は**デメリット**についてですが、

MA抜けの際にロウソク足の確定を常に待っていると

勢いが良い相場の場合は、完全に入るポイントを逃します。

またそうでなくても、入るポイントは必ず遅れてきます。

というのが、MA抜けの際のロウソク足の確定を待つ際の「メリット」と「デメリット」になります。

つまりまとめると・・・

FXをする以上、全てのトレードで利益を上げることは絶対に不可能ですから

トータルで勝つことを考え、常にロウソク足の確定を待たず

MAが抜けたポイントでエントリーし、伸びていくポイントを狙い撃ちするか？

または、常にエントリーするのは遅れるが・・・
本当に確実なところだけを狙っていくために
常にロウソク足の確定を待ち、尚且つ勢いが良い相場の場合はエントリーは避けるか？

という選択になります。

ですが、この勝率向上書ではメリットを生かしつつ
デメリットも避けることができる翼流の最強の選択方法を教えていきます。

というのも、私の場合はその日その時の相場の動きに対し
メリットとデメリットを使い分けています。

では、そのメリットとデメリットを使い分ける方法とは
『一体どのようなものなのか？』と言いますと・・・

基本的にはロウソク足の確定は待ちませんが
”リスクが少し高いポイント”でエントリーしていく場合のみ
ロウソク足の確定を待つようにしています。

つまり、リスクが少し高いポイントとは
「リスクワードが少し悪いポイント」などでエントリーしていく場合のみ
”ロウソク足の確定を待つ”ということです。

そうすることで、エントリーをする際に遅れを取ることなく
すんなり伸びていくストレスフリーの勢いの良い相場もしっかり利益に変えていくことができます。

さらに、リスクが少し高いポイントでは資金をしっかり守ることに繋がります。

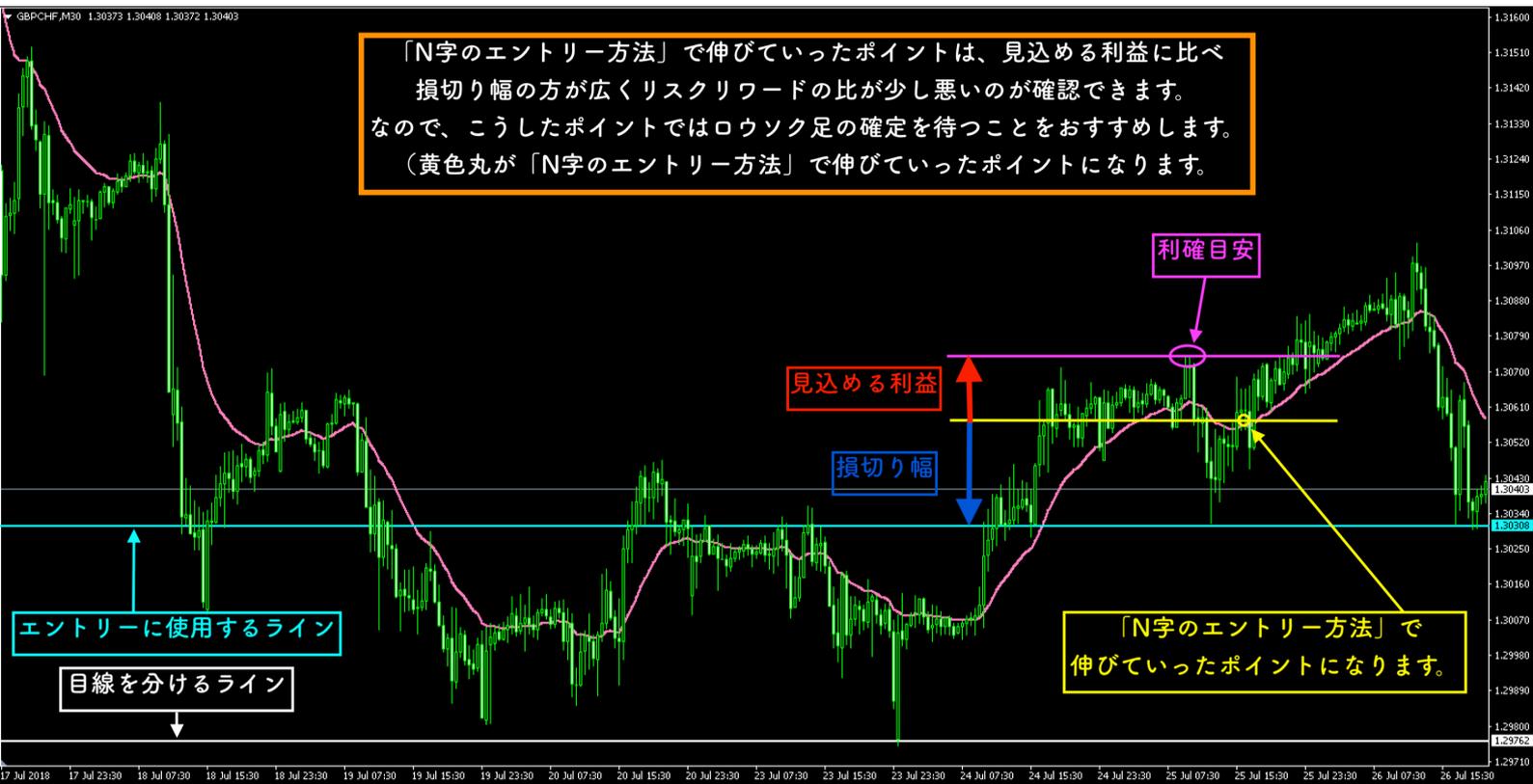
なので、普段はロウソク足の確定を待たず、
”リスクが少し高いポイント”のみでロウソク足の確定を待つという方法が
一番いいと取りがえる方法になるのです。

ちなみに、リスクワードが少し悪いポイントとは、
リスクワードの比になり、「見込める利益」と「損切り幅」の比が少し悪いポイント
という意味になります。

この見込める利益と損切り幅の比が「1対1」の場合は、
リスクワードの比は悪くありませんが、見込める利益が「1」に対し
損切り幅が「1.5」の場合は、リスクワードの比が少し悪いポイントになります。

では、そのことを踏まえていただいた上で
実際の相場でリスクワードの比が悪いポイントを見ていただきます。

下の画像を見てください↓



上画像は、GBP/CHFの30分足になります。

そして、目線を分けるラインが白ラインになりますのでこの目線を分けるラインを境に上ゾーンを「買い目線」と判断し買い目線内では買いのみのトレードを行っていくのが基本になります。

（目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。）

それから、エントリーに使用するラインが水色ラインになります。

（エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。）

そうすると、水色ラインでサポートされましたので

黄色丸のポイントで「N字のエントリー方法」でエントリーすることができるポイントになります。

（N字のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載している通りになります。）

そして今回の相場の場合、見込める利益である利確目安は「直近の高値」になり損切り幅とは、水色ラインまでの距離になります。

（利確方法と損切り方法はトレードマニュアルに記載している通りになります。）

そうすると、見込める利益「1」に対し、損切り幅が「1.5」になるためリスクワードの比は「1対1.5」と把握することができるのです。

なので、黄色丸のポイントはリスクリワードの比が少し悪いポイントと判断することができるのです。

なので、このポイントでエントリーしていく場合はMA抜けの際にロウソク足の確定を待つことで、ヒゲで戻してくる動きを回避してエントリーしていくことができるため、リスクを少し軽減することができるのです。

黄色丸のポイントがロウソク足の確定を待ったポイントになります。
(N字のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

ちなみに、リスクリワードの比がこれ以上悪い場合はMA抜けの際にロウソク足の確定を待ってもエントリーするべきポイントではありません。

何故なら、リスクリワードの比が「1対2」以上はリスクが高すぎるため、損失に繋がりがやすくなるためです。

なので、ロウソク足の確定を待ってエントリーすることができるのは「1対1.5」までになり、「1対2」以上はリスクが高すぎるため見送るべきポイントになります。

これは、翼流トレードルールになり必ず守らなければいけない絶対的なルールになりますので資金をしっかりと守っていくためにも、肝に命じてください。

以上が「2-5」エントリーを行う際のMA抜けのロウソク足の確定をしっかりと判断していく方法になります。

これまで話してきた内容を実践すれば資金をしっかりと守りつつ増やしていくことに繋がりますのでしっかりと吸収していきましょう。



次は、第2章「2-6」に移ります。

2-6… エントリーのタイミングの取り方

この「2-6」では、エントリーのタイミングをバッチリ合わせ
さらに、リスクも徹底的に抑え勝率をグンと上げていく方法について話していきます。

なので、この「2-6」の内容もこれまで同様に
目線を分けるラインを引き「売り」「買い」の目線を判断し
その判断した目線内での内容になります。

(つまり、翼流環境認識が前提の内容になります。)

というのも、翼流エントリー方法は、ほとんどの場合
エントリーを行う際にMAを抜けたポイントでエントリーを行います。
(例外のエントリー方法もございます。)

その為、エントリーに使用する時間足で
エントリーのタイミングが微妙にズれてくるのですが・・・
そのエントリーのタイミングがズれてくるのを未然に防ぐことができ
尚且つリスクも徹底的に抑え、さらに勝率を上げていく方法を
この「2-6」では教えていきますので、しっかり吸収して行ってください。

では、その適切な時間足の選択方法とは
『一体どのようなものなのか?』と言いますと・・・

**基本的には、エントリーに使用する時間足の”前後の時間足の
MA抜け”を確認するという方法になります。**

そうすることで、エントリーのタイミングもバッチリ合ってきますし
リスクも徹底的に抑えることができ、さらに勝率も上がってきます。

というのも、エントリーのタイミングに関しては (MAの絡め方)
基本的には、”全ての時間足のMAも抜けたポイント”でエントリーした方が良いです。
(全ての時間足とは、「5分足」～「日足」までになります。)

ですが、例えば30分足を使ってエントリーを行っていく際に (買いでエントリーする場合)
その時の利確目安 (直近の高値) よりもさらに上に日足のMAが位置していたとします。
(N字のエントリー方法や利確方法は、トレードマニュアルに記載しています。)

この場合、その日足のMA抜けを待たなくても、
利確目安 (直近の高値) までの方がエントリーポイントから近いため
常に全ての時間足のMA抜けを待つ必要はないのです。

もう少し詳しく話しますと・・・

日足のMAよりも下に「30分足」の利確目安（直近の高値）があるので
この場合、日足のMAは抜けていても抜けていなくても関係ないものになるのです。

何故なら、「30分足」を使い「買い」でエントリーする場合
その「30分足」の利確目安（直近の高値）で決済するからになります。

つまり、その「30分足」の利確目安（直近の高値）で決済するので
「日足のMAまで到達しないため」＝「日足のMAで止められる心配がないため」
日足のMAは抜けていても抜けていなくても関係ないものになるのです。

エントリーの際にMA抜けを確認する理由は、
MAで止められる恐れがあるので、毎度MAを抜たポイントでエントリーを行うのですが、
そのMAで止められる心配が無ければ、常に全ての時間足のMA抜けを待つ必要はありません。

その為、全ての時間足のMA抜けを確認しなくても
基本的には、**エントリーに使用する時間足の”前後の時間足のMA抜け”**を
確認すればOKになります。

「N字」や「W字」「3点」のエントリー方法でエントリーを行う場合は、
ほとんどの場合、前後の時間足のMAが抜けていれば、
ほぼ全ての時間足でMAを抜けている場合が多いためになります。
（「N字」や「W字」「3点」のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載しています。）

それは、先程も説明したように利確目安よりも先にMAが存在する時間足に関しては、
常に”MA抜けを待つ必要”はないためです。

ただし、ラインプラスMAのエントリー方法でエントリーを行う場合は
下位の時間足で必ず「N字のエントリー方法」でエントリーできるポイントが存在しますので
その下位の時間足も抜けたポイントでエントリーするようにしてください。
（ラインプラスMAのエントリー方法は、究極の7定式に記載しています。）

例えば、4時間足で「ラインプラスMA」でエントリーできるポイントがあり
30分足で「N字のエントリー方法」でも狙っていくことができるポイントは
その30分足のMAも抜けたポイントでエントリーした方が
よりリスクを低く抑えることができるのです。
（これは、ラインプラスMAのエントリー方法でエントリーする場合のみの話です。）

ちなみに、なぜエントリーを行う時間足の前後の時間足のMA抜けを確認することで
エントリーのタイミングがバッチリ合い、尚且つリスクも徹底的に抑えることができ
さらに勝率も上がるのか？と言いますと・・・

例えば、4時間足でMAを抜けてきても

1時間足のMAが抜けていない場合、その1時間足のMAで止められる可能性があるためです。

なので、エントリーに使用する時間足（4時間足）の
前後の時間足（1時間足と日足）のMAも抜けたポイントでエントリーすることで
リスクを徹底的に抑え、より勝率を上げてエントリーしていくことができるのです。

ですのでこのことから、エントリーに使用する時間足の前後の時間足のMA抜けを
確認することで、エントリーのタイミングがズれてくるのを未然に防ぐことができ
尚且つリスクも徹底的に抑え、さらに勝率もグンと上げてエントリーを行うことができるのです。

では、そのことを踏まえていただいた上で
実際の相場でエントリーに使用する時間足のMA抜けと前後の時間足のMA抜けについて
確認していただきます。

下の画像を見てください↓



上画像は、USD/CHFの30分足になります。
(エントリーに使用する時間足が30分足になります。)

そして、目線を分けるラインは画像上には写っていませんが「買い目線内」になります。
(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

それから、その買い目線内でエントリーに使用するラインを引いています。

(エントリーに使用するラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

そうすると、エントリーに使用するラインでサポートされ (赤丸)

その後は、MAを上抜けてきたのが確認できます。

(N字のエントリー方法は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

黄色丸のポイント (1.00182)を見ていただくと、

エントリーに使用する時間足の「30分足」で”MAを上抜けてきた”のが確認できます。

なので、エントリーに使用する時間足 (30分足) でMAを上抜けてきましたので

よりリスクを軽減していくためにも、**前後の時間足 (15分足と1時間足) でも**

MA抜けを確認してからエントリーしていくべきになります。

なので、前後の時間足である15分足でもMA抜けを確認していきます。

下の画像を見て下さい↓



上画像は、USD/CHFの15分足になり

目線を分けるラインは画像上には写っていませんが「買い目線内」になります。

(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

そして、黄色丸のポイント (1.00182)を見ていただくと、

前後の時間足である「15分足」でもMAを既に”上抜けてきた”のが確認できます。

なので、エントリーに使用する時間足（30分足）と前後の時間足である（15分足）でもMA抜けを確認できましたので次は、もう一つの前後の時間足である「1時間足」でMA抜けを確認していくべきになります。

なので、もう一つの前後の時間足である1時間足でもMA抜けを確認していきます。
下の画像を見てください↓



上画像は、USD/CHFの1時間になり
目線を分けるラインは白ラインのポイントになり「買い目線内」になります。
(目線を分けるラインの引き方は、トレードマニュアルに記載している通りになります。)

そして、黄色丸のポイント（1.00182）を見ていただくと、
エントリーに使用する時間足（30分足）と前後の時間足である15分足では
既にMAを上抜けていたが、もう一つの前後の時間足である「1時間足」では
まだMAは上抜けていないのが確認できます。
(1.00182のポイントはまだMAを上抜けていないポイントになります。)

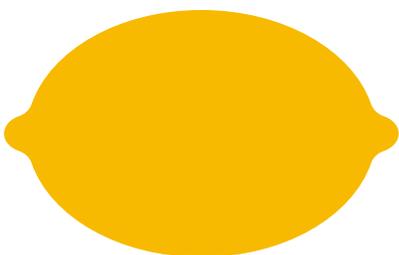
なので、このことからもう一つ前後の時間足である
1時間足でもMA抜けを待つべきポイントになります。

何故なら、エントリーに使用する時間足（30分足）と前後の時間足である15分足では
既にMAを上抜けていたが、もう一つ前後の時間足である1時間足でもMAを上抜けていないと
その1時間足のMAで止められ損失に繋がる可能性があるためです。

その為、エントリーに使用する時間足（30分足）と
前後の時間足である15分足と1時間足でもMAが上抜けているポイントで
エントリーしていくことで、エントリーのタイミングがズれてくるのを未然に防ぐことができ
尚且つリスクも徹底的に抑え、さらに勝率もグンと上げてエントリーを行うことができるのです。

以上が「2-6」エントリーのタイミングをバッチリ合わせ
さらに、リスクも徹底的に抑え勝率をグンと上げていく方法についてになります。

これまで話してきたようにエントリーに使用する時間足の前後のMA抜けも確認することで
リスクを徹底的に抑えることができ、尚且つ勝率もグンと上げていく事ができますので
この翼流テクニカルの判断方法をしっかり吸収し、実践で活かしていきましょう。



次は、最終章に移ります。

最後に

これまでリスクを徹底的に抑え、さらに勝率をグンと上げていくテクニカル判断方法を数々と話してきましたが「勝率向上書」の内容はこれで全てになります。

ちなみに、第2章「安定的かつ勝率を上げるテクニカル判断方法」の「2-1」～「2-6」を重要順に並べると以下の通りになります。

(1) 2-2… エントリーに使用するラインで安定を手に入れる



(2) 2-6… エントリーのタイミングの取り方



(3) 2-1… 相場の流れに徹底的に乗ってトレードしていく



(4) 2-3… 適切な時間足の選択



(5) 2-4… ロウソク足の形成で勝率を見極める



(6) 2-5… MA抜けの際のロウソク足について

といった順位になります。

とは言いつつも、第2章の「2-1」～「2-6」は全てが重要な内容になるのですがあえて順位をつけるのであれば、上記の通りになります。

例えば、(1)と(2)では徹底的にリスクを抑えるポイントになり(3)と(4)では、より安定したトレードを行うことができるポイントになり(5)と(6)では、さらに勝率を上げていくポイントといった感じになります。

なので、皆さん自身でエントリーしていく際には第2章の「2-1」～「2-6」のうち何箇所当てはまるのか？

という点を判断してトレードしていくと
より負けにくく勝率の高いポイントでエントリーしていくことができます。

何度も言いますが、この「勝率向上書」の内容は、
[「トレードマニュアル」](#)の内容が前提になりますので、
そのトレードマニュアルの内容を前提として「勝率向上書」の内容もプラスしていくことで
よりリスクを徹底的に抑え、さらに勝率を上げていくことができるものになります。
(トレードマニュアルのみでも十分プラスに持っていくことが可能です。)

そして、この「勝率向上書」の内容を
[「究極の7定式」](#)に記載している応用のエントリー方法にも絡めていくことで
とんでも無いくらいの効果を発揮していくことが可能なものになります。
(もちろん、トレードマニュアルのエントリー方法も適応させてください。)

この「勝率向上書」の内容は、
私が多くの利益を生み出し続けているテクニカル的判断内容を
惜しみなく記載したものになりますので
しっかりマスターして是非実践で活かしてください。

この『勝率向上書の内容を生かすことができるか?どうか?』に関しては、
皆さん自身の努力次第になりますので、しっかり経験を積んでいく必要があります。

明日からいきなり多くの利益を生み出すことは、
難しいですから、一歩ずつ確実に生み出す利益を増やしていき、
最終的には本当に多くの利益を確保していきましょう。

この「勝率向上書」を使いさらに安定したトレードを手に入れ
さらに、高みを目指して行ってください。

では、最後まで読んでいただきありがとうございます。

翼

次のページに移ります。

・ 発行者・・・「翼」

・ 【翼FXブログ】 FXで人生の頂点へ

<http://tsubasa-fx.com/fx/>

(↑クリックでブログへ飛べます。)

・ トレードマニュアル

<http://tsubasa-manual.tokyo/e/0111102222-2/>

(↑クリックで詳細へ飛べます。)

・ 究極の7定式

<http://tsubasa-manual.tokyo/e/111102-2/>

(↑クリックで詳細へ飛べます。)

・ 翼FXメール講座

<http://tsubasa-page.info/ad/mail>

(↑クリックで詳細へ飛べます。)

・ 翼FXライン@

<http://tsubasa-fx.com/fx/wp-content/uploads/2018/05/3d48cdfc5890fa8abc3aad4fc5ce893c.png>

(↑クリックで登録画面へ飛べます。)

・ 動画解説

<https://www.youtube.com/channel/UC3-74iqjrUgDKAFcrxX7qBg>

(↑クリックでyoutubeに飛びます。)

・ twitter

https://twitter.com/tsubasa_fx0222

※このマニュアルを無断で転売、販売することを固く禁じます。

(このマニュアルの内容を無断で公開することも固く禁止いたします。)